

第2期 おおの創生総合戦略

令和2年8月
(令和6年8月改訂)

岐阜県大野町

目 次

(1) 総合戦略の概要	1
① 総合戦略の期間	1
② 国・岐阜県の総合戦略との関係性	1
③ 大野町総合計画ほか個別計画との関係性	1
④ 総合戦略の評価・検証の仕組み	1
⑤ 第1期総合戦略の取り組み状況	2
(2) 基本方針	3
① まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則	3
② 総合戦略の基本的な考え方	4
(3) 基本目標と基本的方向	5
① 基本目標の考え方	5
② 5つの基本目標とSDGsとの関係性	7
(4) 戦略の推進にあたっての考え方	12
① 計画のフォローアップ・進行管理	12
② 多様な主体と連携・協働	12
③ 財源の確保	12
(5) 基本目標の実現に向けた施策展開	13
基本目標1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる（出生数を増やす）	13
基本目標2 いつまでも健康の希望をかなえる（健康寿命をのばす）	18
基本目標3 住み続けたい・住んでみたいという希望をかなえる（移住定住の促進） ..	21
基本目標4 働きたいという希望をかなえる（地域産業の活性化）	35
基本目標5 訪れてみたい・もてなしたいという希望をかなえる（交流人口の拡大） ..	42
巻末資料	48

(1) 総合戦略の概要

① 総合戦略の期間

第2期おおの創生総合戦略（以下「本戦略」という。）の期間は、令和2年（2020年）10月から令和7年（2025年）9月までの5年間とします。

② 国・岐阜県の総合戦略との関係性

本戦略は、令和元年（2019年）12月20日に改訂された国の「長期ビジョン」及び「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案するとともに、岐阜県における「岐阜県人口ビジョン」及び「『清流の国ぎふ』創生総合戦略」の方向性も踏まえつつ策定するものであり、本町の人口減少の克服と地域の自立的かつ持続的な活性化に向けて、第1期（平成27年10月～令和2年9月まで）のおおの創生総合戦略（以下「第1期総合戦略」という。）における取り組みの評価と今後5年間における具体的な取り組みの方向性を示すものです。令和4年12月23日に国より通達された「デジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した地方版総合戦略の策定・改訂について（通知）」により各地方公共団体は、デジタル田園都市国家構想に基づいて改訂された国及び岐阜県の「総合戦略」を勘案した「地方版総合戦略」の策定・改訂が求められています。

③ 大野町総合計画ほか個別計画との関係性

大野町第六次総合計画（以下「総合計画」という。）は、町が策定する最上位の計画に位置づけられており、総合的かつ計画的にまちづくりを進めるための指針となるものです。町の地域活性化の方向性を示した大野町グランドデザインを踏まえ、町の将来のあるべき姿とそれを実現するための各分野における施策の方向性を示しています。総合計画の構成は、平成27年度（2015年度）から令和16年度（2034年度）までの20年間を、本町が目指すまちづくりの基本的な考え方や将来像などを示す「基本構想」、令和6年度（2024年度）までの10年間を、将来像の実現に向けて各分野で取り組む主要施策や主要事業、重点的に取り組むリーディングプロジェクトを位置づけた「基本計画」としたうえで、「実施計画」を3年間という期間で策定しており、毎年度見直しを実施しています。

本戦略は、総合計画を上位計画とし、その他の町で策定している各分野の個別計画との整合を図りながら策定し、計画的に実施していきます。

④ 総合戦略の評価・検証の仕組み

本戦略に位置づけた施策・事業については、総合計画と一体的なPDCAサイクルを実施し、毎年度、施策・事業の進捗状況のチェックや効果検証を行い、次年度の施策や予算案に反映することにより、施策・事業が計画的に実行されるよう進行管理を行っていきます。

⑤ 第1期総合戦略の取り組み状況

1) 評価の方法

第1期総合戦略に示した5つの基本目標及び21の施策を対象として、達成状況の評価を行いました。施策においては、重要業績評価指標（KPI）を次の評価基準に従い、6区分で評価しました。

施策の評価基準

区分	目安
S：目標を大幅に上回っている	数値目標を基準に＋30%以上
A：目標を上回っている	数値目標を基準に＋10%以上～＋30%未満
B：目標を概ね達成している	数値目標を基準に－10%以上～＋10%未満
C：目標をやや下回っている	数値目標を基準に－10%未満～－30%以上
D：目標を下回っており、大幅な改善が必要	数値目標を基準に－30%未満
E：評価基準となる数値等がない	

2) 評価結果の概要

基本目標については、5つのうち3つが達成している結果です。また、施策については、目標を達成しているS～B評価が192項目中108項目であり、全体の56%となっています。事業の見直しや進捗状況等の影響により評価ができなかったE評価を除くと、S～B評価は全体の64%です。

これらの評価を受けて、総合計画や本戦略を勘案し、取り組み内容や目標指標（目標値）の見直しを行いました。

基本目標・施策の評価結果

基本目標		基本目標 の評価	施策の評価						
			KPI	S	A	B	C	D	E
1	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	未達成	29 100.0%	3 10.3%	3 10.3%	15 51.7%	6 20.7%	2 6.9%	0 0.0%
2	いつまでも健康の希望をかなえる	達成	20 100.0%	1 5.0%	1 5.0%	7 35.0%	5 25.0%	5 25.0%	1 5.0%
3	住み続けたい・住んでみたいという希望をかなえる	未達成	63 100.0%	5 7.9%	6 9.5%	23 36.5%	7 11.1%	12 19.0%	10 15.9%
4	働きたいという希望をかなえる	達成	42 100.0%	2 4.8%	1 2.4%	19 45.2%	9 21.4%	6 14.3%	5 11.9%
5	訪れてみたい・もてなしたいという希望をかなえる	概ね達成	38 100.0%	4 10.5%	2 5.3%	16 42.1%	6 15.8%	2 5.3%	8 21.0%
合計			192 100.0%	15 7.8%	13 6.8%	80 41.7%	33 17.2%	27 14.0%	24 12.5%

※評価結果の詳細は巻末資料 P. 55 参照

(2) 基本方針

① まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

第1期総合戦略では、国の総合戦略に掲げられている、「まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則」を踏まえて、以下のとおり事業を実施しました。

本戦略においても、引き続き以下の政策5原則を維持しつつ、新たに「連携（町民・事業者・近隣市町・関係人口※等との連携、産官学金労言の連携）」という観点を明確にし、事業を推進していきます。

※移住者、観光客ではなく、短期滞在やボランティアなど様々な形で継続的に地域と関わる人。

1) 自立性

本戦略では、町民や事業者、地元の関係機関等の活力を積極的に活用しながら、各施策が一過性の対症療法的なものにとどまることなく、本町や町民・事業者等の自立に繋がるよう、継続的に町の活力を再生・維持していくための事業を進めていきます。

国からの補助金・交付金等を積極的に活用しつつも、本町の課題や構造的な問題発生の原因に対する取り組みへの活用を基本として、補助金・交付金等がなくても持続的に施策・事業の展開が図られるよう留意します。

2) 将来性

本戦略では、総合計画に掲げる将来像「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」の実現に向けて、地域産業や町民生活の活力を維持・創出することにより、町民・事業者等が町の将来に期待を持つことができるよう、本町が自主性・主体性を持って取り組むことができる施策・事業の展開が図られるよう留意します。

3) 地域性

本戦略では、バラや柿をはじめとする全国有数の農産物、高速道路網の整備による広域的な交通利便性などに恵まれた本町の特徴や魅力を最大限に活かし、快適でやすらぎを感じることができる質の高い豊かな暮らしが実現でき、子どもも若者も高齢者も、町民誰もががまちに愛着と誇りを持って、いつまでも住み続けたいと思えるような施策・事業の展開が図られるよう留意します。

4) 直接性

本戦略では、町民・事業者等との協働や関係人口の創出・拡大、産官学金労言の連携を一層強化する体制や仕組みづくりに取り組むなど、様々な主体が関わり合いながら、それぞれの役割を発揮し、政策効果をより高める工夫を行うことにより、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるための施策・事業の展開が図られるよう留意します。

5) 結果重視

本戦略では、これまでの総合計画に基づく進行管理・評価検証の仕組みを踏まえつつ、施策・事業に関する重要業績評価指標（KPI）を定め、PDCAサイクルのもとで施策・事業の効果や進捗状況の検証を進めていきます。これにより、政策効果を常に客観的な指標により検証し、必要な改善等を継続的に行っていき、結果を重視した実効性の高い施策・事業の展開が図られるよう留意します。

② 総合戦略の基本的な考え方

1) 基本的な考え方

本戦略では、人口ビジョンで示した「2060年に人口2万人程度を維持する」ことを目指し、出生率の向上や社会移動の改善を図るために、今後5年間で重点的に取り組むべき施策・事業を位置づけています。

出生率の向上を図る取り組みについては、第1期総合戦略から引き続き、結婚・出産・子育てに対する不安を取り除き、出産を希望する人が安心して子どもを産み育てられるようなまちづくりを進め、合計特殊出生率を2030年までに1.8、2040年までに2.07程度まで上昇させます。

また、社会移動の改善については、本町では、平成21年より転出者数が転入者数を上回る社会減（転出超過）の傾向が続いており、特に転出傾向が多くみられる15～34歳の若年世代の転出超過を解消し、「住んでいてよかった 住み続けたい」と感じるまちづくりを第一に、現在住んでいる人が誇りと愛着を持ち続けられるように取り組みます。

以前は、本町の持つ自然豊かな住環境と比較的安価な地価を強みに、岐阜市などの周辺市町村からの人口流入がみられましたが、名鉄揖斐線の廃線により公共交通の利便性の低下が弱みとなり、近年は転出超過の状態が続いています。こうしたことから、本町の弱みとなっている公共交通などの利便性の向上や子育て支援の充実、健康づくりの推進を図るとともに、全国に誇れるバラや柿、文化・歴史ロマンを感じる多くの資源などを強みとすべく施策を展開しながら、郷土への愛着を育むことにより、定住の促進を図ることを目指します。また、こうした資源を最大限活用し、一年を通じた観光誘客による交流人口の拡大や観光を契機とした関係人口の創出を図ります。また、付加価値化によるブランド力の向上、地域内産業の活性化を創出するとともに、移住促進に繋がるプロモーションを展開していきます。

一方、令和2年（2020年）からは新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々の暮らしや働き方が大きく変化する等、世の中が大きく変化、複雑化しています。「ウィズ・コロナ」や「アフター・コロナ」を見据えたDX※の推進、SDGs、脱炭素社会の実現など新たな潮流への対応が求められており、取り組むべき課題が多岐にわたる中、国や県、市町村との施策間連携・地域間連携を強化し、目標とする将来像である「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」の実現を目指し、持続可能で自立したまちづくりを進めていきます。

※DX (Digital Transformation) とは組織や企業が、外部環境（顧客・市場・社会）の大きな変化に対応し、デジタル技術を活用して従来の働き方、文化、組織の変革を牽引しながら、新たな業務モデルやサービスを生み出し、ネット（デジタル）とリアル（アナログ）の両面で利用者体験の向上を図ることとされています。

2) 施策・事業の実施にあたっての留意点

上記の基本的な考え方を踏まえ、本戦略においては、以下の点に留意して施策・事業の実施にあたります。

- 人口ビジョンの将来展望を実現するために「出生率の向上」と「社会移動の改善」が期待できる取り組み効果の高い具体的な事業を選別し、重点的に実施していきます。
- 施策・事業の位置づけに際しては、施策対象を絞り込み、事業効果の見込みを明らかにするなど、戦略性を持った取り組みとして実施していきます。
- 本戦略に位置づける施策・事業は、計画的な実施と進行管理を行うことを基本として、町の財政等の見込みとも整合を図りながら実効性の高い現実的な取り組みとして実施していきます。

(3) 基本目標と基本的方向

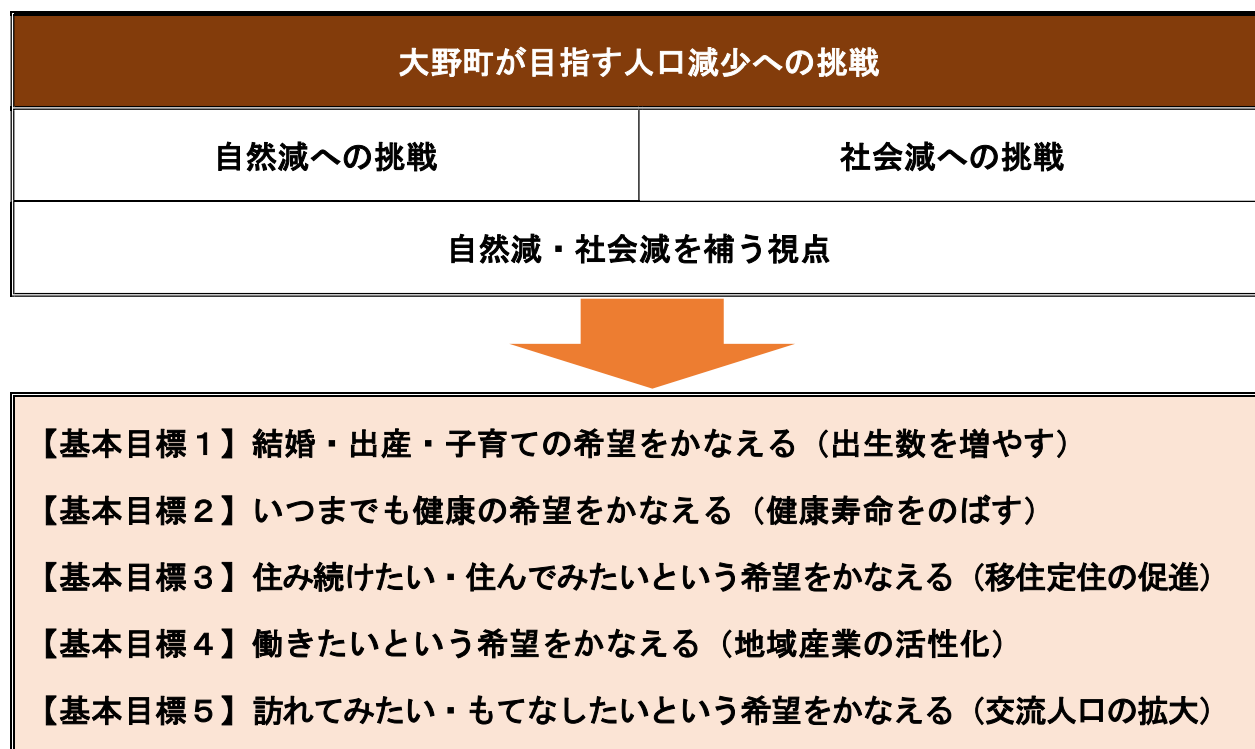
① 基本目標の考え方

国の総合戦略には以下の4つの「基本目標」と2つの「横断的な目標」が掲げられています。

基本目標①	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
基本目標②	地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
基本目標③	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本目標④	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
横断的な目標①	多様な人材の活躍を推進する
横断的な目標②	新しい時代の流れを力にする

国の４つの基本目標及び２つの横断的な目標を踏まえ、総合計画の将来像である「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」の実現に向けて、「人口減少への挑戦（自然減への挑戦、社会減への挑戦、自然減・社会減を補う視点）」という観点から、『大野町で暮らし、活動する様々な人々の“希望”をかなえる』ことができるように、本町の地方創生にあたって具体的に取り組むべき方向性を示す５つの基本目標を、以下のとおり設定しました。

第１期総合戦略から継続し本戦略においても、この５つの基本目標に基づき各種施策を推進します。



② 5つの基本目標とSDGsとの関係性

1) SDGs（エスディーゼーズ）とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、平成13年（2001年）に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、平成27年（2015年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された平成28年（2016年）から令和12年（2030年）までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



2) SDGsに関する国の動き

平成27年（2015年）にSDGsが採択された後、その実施に向け、政府はまず国内の基盤整備に取り組みました。平成28年（2016年）5月に総理大臣を本部長、官房長官、外務大臣を副本部長とし、全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置し、国内実施と国際協力の両面で率先して取り組む体制を整えました。更に、この本部の下で、行政、民間セクター、NGO・NPO、有識者、国際機関、各種団体等を含む幅広いステークホルダーによって構成される「SDGs推進円卓会議」での対話を経て、同年12月、今後の日本の取り組みの指針となる「SDGs実施指針」を決定しました。

また、令和5年（2023年）12月の第14回推進本部会合では、同年がSDGs達成に向けた中間年であることから、改めて誰一人取り残さないというSDGsの原点に立ち返り、「人間の尊厳」が守られる世界を実現するべく、SDGsの達成に向けた取組を加速化するとともに、新しい資本主義の下、「人への投資」やGX・DXの推進を通じて、持続可能な経済・社会システムを作り上げていくとの決意の下、「SDGs実施指針」の2度目の改定が行われました。

3) 自治体に期待されるSDGsの取り組み

国は、SDGsの17の目標や169のターゲットに示される多様な項目の追及が、日本の各地域における諸課題の解決に貢献し、地方創生を推進するものであるとしています。しかし、SDGsの目標やターゲット及びそれらの進捗管理のための指標の中には、グローバルで国家として取り組むべきものなどが多く含まれていることから、これらの中から取捨選択し、各地域の実情にあわせて落とし込む作業が必要です。

そこで、町では、以下の17の目標と本戦略の基本目標との結びつきを整理することで、特に注力すべき政策課題の明確化や、経済・社会・環境の三側面の相互関連性の把握により、地域課題の解決を一層促進します。

【17の目標】

	貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる ➤ 適切な社会保障制度及び対策を実施し、貧困で生活に苦しむ人々の支援や子育て支援を行う
	飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する ➤ 農業や畜産などの食料生産の支援を実施し、安全な食料確保を推進する
	すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する ➤ 全ての町民に対して、質の高い基礎的な保健サービスを受けられる環境を整備し、町民の健康維持に貢献する
	質の高い教育をみんなに 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する ➤ 学校教育（特に初等・中等教育）や社会教育の両面で、全ての町民が適切かつ効果的な学習機会を得られるようにする
	ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う ➤ 女性や子ども等の社会的弱者の人権を守り、男女共同参画社会を実現する
	安全な水とトイレを世界中に 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する ➤ 全ての町民が普遍的かつ平等に安全で清潔な水を確保出来る環境を維持する
	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する ➤ 町民や町内企業における再生可能エネルギーの導入を推進する

	働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する ➤ 様々な分野の持続可能な経済成長を支え、創業支援や企業誘致等を通して雇用を創出する
	産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る ➤ 地域のインフラ整備を行い、地元企業の支援、新たな産業の創出に貢献する
	人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する ➤ 差別や偏見の解消や社会保障制度等の実施により、不平等を是正する
	住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する ➤ 町民のニーズを反映させた利用しやすい公共交通ネットワークを整備するとともに、災害に対して強靱で持続可能なまちを実現する。
	つくる責任、つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する ➤ 省エネや3Rの徹底など、町民の環境への意識を高め、環境への負荷削減を目指す
	気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる ➤ 気候変動問題の解決に向けた取り組みと自然災害に備えた強靱なまちを目指す
	海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する ➤ 家庭や企業からの排水を適切に処理し、河川・海洋の汚染対策に貢献する
	陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する ➤ 町民や町内企業の環境保全に対する理解を深め、自然生態系の保護に貢献する
	平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する ➤ 児童虐待等の暴力を撲滅し、平和で公正な社会を実現する
	パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する ➤ 町民や企業、団体等とのパートナーシップを構築し、まちづくりを推進する

基本目標 1	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（出生数を増やす）
-----------	----------------------------



本町の強みである豊かな自然環境を活かした木育などの取り組みとともに、弱みである公共交通の利便性の低さからくる通学の不便さと経済的負担を改善する取り組みを通じて、結婚・出産・子育ての希望をかなえられるようにしていきます。また、結婚・出産の支援をはじめ、「子育てはうす ぱすてる」を拠点とした子育て支援の充実、地域での子どもを守り・育む環境づくりを進め、安心して子どもを生み育てられるまちづくりを行っていきます。

基本目標 2	いつまでも健康の希望をかなえる（健康寿命をのばす）
-----------	---------------------------



本町の弱みである専門医療機関・専門医師の不足を改善するため、総合病院の整備促進を通じて、誰もが、身近な地域で安心して医療を受けられ、いつまでも健康に暮らすことができるまちを目指します。また、高齢者はもちろん子育て世代も心身ともに健康で、活動的に暮らせるように体力の増進を図ります。高齢者が健康で活動的に暮らすことにより、子育てへの参加や経済的な支援など間接的に出生数の増加が期待されます。

基本目標 3	住み続けたい・住んでみたいという希望をかなえる（移住定住の促進）
-----------	----------------------------------



本町の強みである自然豊かな住環境や地域資源を活かした取り組みを促進するとともに、弱みである交通利便性を改善する取り組みを進め、町民が郷土愛を育み、住み続けたいという方やUターンで再び故郷へ移住するという方の増加を目指します。また、町外からも住んでみたいという方が増えるような魅力ある取り組みにより、移住定住の促進を図っていきます。

基本目標 4	働きたいという希望をかなえる（地域産業の活性化）
	     
	    

本町の弱みである働く場の減少を克服するため、令和元年12月に開通した東海環状自動車道大野神戸インターチェンジ（以下「大野神戸IC」という。）による交通利便性の向上を強みとして、大野神戸IC周辺やテクノパーク大野への企業誘致を積極的に進めます。更に、既存の産業である農業や商工業についても、新たな地域ブランドづくりなどにより、活性化を図っていきます。また、新たな観光・産業振興の拠点となる道の駅「パレットピアおおの」を積極的に活用し、既存の資源とつなげながら雇用を創出していきます。

基本目標 5	訪れてみたい・もてなしたいという希望をかなえる（交流人口の拡大）
	     
	     

本町の観光入込客数は、近年横ばいもしくは減少傾向にありましたが、道の駅「パレットピアおおの」の開駅により増加傾向にあります。大野神戸IC開通による交通利便性の向上と観光拠点としての道の駅「パレットピアおおの」の活用、地域資源・観光イベントをブラッシュアップすることなどにより、西美濃圏域の玄関口として本町に訪れてみたい・もてなしたいという人を増やすことで交流人口の拡大と、観光を契機とした関係人口の創出を目指していきます。

（４）戦略の推進にあたっての考え方

① 計画のフォローアップ・進行管理

本戦略の期間は、令和２年（2020年）10月から令和７年（2025年）９月までの５年間とし、目標年度である令和６年度（2024年度）実績までPDCAサイクルによる進行管理を行っていきます。

また、今後は毎年度の予算編成結果を随時反映させるとともに、総合計画との一体的な推進、国が提供する「地域経済分析システム（RESAS）」による詳細な経済分析、また、国勢調査の結果などを踏まえ、随時見直しを行っていきます。

② 多様な主体と連携・協働

本戦略に位置づけた施策・事業の推進にあたっては、町民や町内事業者をはじめ、総合戦略策定段階から参画する産官学金労言等の広く多様な分野からの意見を取り入れながら、地域が一丸となった総合的な取り組みを重視し、本町に関わる様々な主体との連携・協働での推進を継続していきます。

③ 財源の確保

本戦略に位置づけた施策・事業の推進にあたっては、総合計画に位置づける施策との整合を図りながら、最少の経費で最大の効果を発揮できるよう、創意工夫を行い推進することとし、地方創生推進交付金をはじめ国や県の財政支援制度の積極的な活用や、企業版ふるさと納税等新たな財源の確保を視野に入れながら、適正な予算措置を図っていくものとします。

(5) 基本目標の実現に向けた施策展開

基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる（出生数を増やす）

本町人口の自然増減の推移をみると、死亡数が出生数を上回る自然減の状況や合計特殊出生率については、1.39 と県平均と比べ低く、低水準の傾向が続いています。こうした中、結婚・出産・子育ての希望をかなえ出生数を増やすためには、共働き世帯が子育てしながら、いきいきと活躍できる社会の実現を目指す必要があります。

これら出生数の増加に向けた課題に対し、充実した妊娠・出産支援により出産の希望をかなえ、現在取り組んでいる公立認定こども園の統廃合においては、通常保育以外の延長保育や一時保育、要支援児等通常保育以外の保育も含めた質の高い多様な保育環境を整備します。また、公共交通の利便性の低さからくる通学の不便さと経済的負担を改善する取り組みを通じて、町外に通学する子育て世帯の負担を軽減していきます。更に、地域での子どもを守り・育む環境づくりを進め、平成 30 年（2018 年）に開設した「子育てはうす ぱすてる」を中心に乳幼児やその保護者の交流の場を提供し、安心して子どもを生み育てられるまちづくりを行うとともに、教育力の強化、教育レベルの向上を図り、生きる力のある子どもを育成していきます。

政策指標	基準値	実績値	数値目標（R6）
年間出生数	189 人（H26）	140 人（R1）	170 人
合計特殊出生率（ベイズ推定値）	1.40（H20～24）	1.39（H25～29）	1.53
合計特殊出生率（参考値）	1.32（H20～24）	1.34（H25～29）	—

※合計特殊出生率（ベイズ推定値）は、厚生労働省の「人口動態保健所・市区町村別統計」より引用。
合計特殊出生率（参考値）は、西濃保健所の「西濃地域の公衆衛生」より引用。

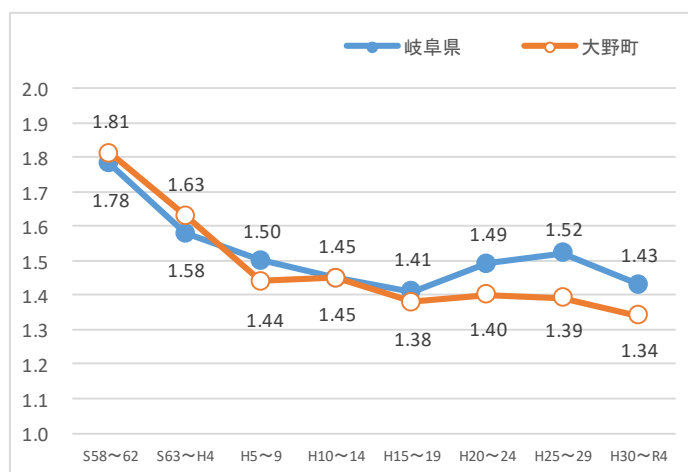
基本目標 1

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

《施策 1》子育て支援の充実

《施策 2》教育力の強化・教育レベルの向上

図 合計特殊出生率の推移（ベイズ推定値）



近隣市町との比較（ベイズ推定値）

	H20～24	H25～29	H30～R4
大野町	1.40	1.39	1.34
岐阜県	1.49	1.52	1.43
岐阜市	1.44	1.49	1.42
大垣市	1.52	1.55	1.50
本巣市	1.45	1.39	1.33
揖斐川町	1.32	1.45	1.29
池田町	1.53	1.43	1.23
神戸町	1.39	1.47	1.36

資料：人口動態保健所・市区町村別統計

《施策1》子育て支援の充実

本町において、子どもを産み育てやすいまちと思う町民の割合は 60.6%と前回調査時より若干低下している状況です。通勤通学や買い物等の日常生活の移動に不便を感じている町民の割合は 48.9%と依然として多い結果となっています。認定こども園の入所状況を見ると、子育て世帯の共働きの増加や核家族化などにより、低年齢児の入所希望が増加傾向にあり、柔軟な対応と効率的な運営、延長保育や一時保育、病児・病後児保育、要支援児保育などの多様な保育サービスの充実が求められています。また、児童虐待相談対応件数の増加など、子育てに困難を抱える世帯が顕在化してきている状況も見られ、子育て世帯に対する包括的な支援体制が必要となっています。

こうしたことから、第2子第3子の出生率アップや低年齢児の保護者のニーズに対応するため、公立認定こども園の統廃合や保護者の就労形態に合わせた保育事業の充実等、質の高い保育サービス基盤の整備を図ります。また、平成30年（2018年）7月には、道の駅「パレットピアおおの」の開駅に併せて「子育てはうす ぱすてる」を開設し、乳幼児やその保護者の交流の場として、地域の子育て支援機能の充実を図りました。令和7年（2025年）には、母子保健・児童福祉を一体的に相談支援する「こども家庭センター」を設置します。今後も、子育て中の保護者の孤独感の緩和や子どもの健やかな成長を促進していくとともに、児童の放課後対策、町民ニーズに応じた公共交通ネットワークの構築などにより、安心して子育てできる環境を整えていきます。

社会情勢やライフスタイルの変化により、晩婚化・非婚化傾向や出産年齢の高齢化が問題となっています。晩婚化・非婚化については、「ぎふマリッジサポートセンター」等の活用や県と連携した結婚支援相談体制の構築・充実、結婚新生活支援事業による婚姻に伴う新生活に係る支援を通して、結婚の希望をかなえられるようサポートしていきます。また、出産年齢の高齢化については、妊婦健診を充実させるなど、子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てられる環境を整えていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①大野町は子どもを産み育てやすいまちと思う町民の割合	60.6%	70.0%
②「子育てはうす ぱすてる」入館者数	151人／日	80人／日
③認定こども園待機児童数	0人	0人
④放課後クラブ待機児童数	0人	0人
⑤不妊治療費助成事業の利用件数（累計）	170件	300件

施策詳細	事業
(1) 保育サービス基盤の整備 保護者等利用者の就労形態をはじめ、生活実態やニーズを踏まえたサービスの充実に向けて、質の高い保育サービス基盤の整備を図ります。	○公立認定こども園の統廃合 ○保護者の就労形態に合わせた保育の充実（延長保育等） ○病児・病後児保育の充実

施策詳細	事業
(2) 子育て支援事業の充実 保護者のニーズを反映した子ども・子育て支援事業計画を策定し、子どもを産み育てることに対する不安や悩みを軽減するため、子ども・子育て会議での議論を通じた子育て支援の充実を図ります。	○子ども・子育て支援の充実（木育の推進） ○子育てに関する相談施設、サロン、サークル、情報ネットワークの充実 ○「子育てはうす ぱすてる」の充実 ○ファミリー・サポート・センターの運営 ○子どもの居場所等相談機能強化事業の実施 ○こども家庭センターの設置
(3) 要保護児童等への支援 要保護児童の家庭に対する指導の実施や相談のネットワーク構築などの体制強化を図ります。 DV（ドメスティック・バイオレンス）、幼児虐待等に関する相談体制を充実します。	○関係機関と連携した要保護児童家庭に対する支援の充実
(4) 放課後対策の総合的な推進 放課後クラブについては小学1年生から6年生までを対象とした事業を継続するとともに、児童が放課後も安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう総合的な施策の推進を図ります。	○放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携・一体化の推進 ○放課後クラブに係る設備の充実
(5) デマンドタクシーの運行充実 子育て世代が安心出来る公共交通ネットワークの構築に努めます。	○デマンドタクシーの運行実施・運行形態の拡充検討
(6) 結婚・出産の支援 「ぎふマリッジサポートセンター」を活用した婚活イベントの情報提供、社会福祉協議会と連携した結婚相談所の開設による相談体制の充実、結婚新生活支援事業の実施により、結婚の希望を支援します。 応援ギフトや検診費用の補助、妊娠中の方向けサロン、赤ちゃん訪問等、子どもを安心して産むことが出来るよう支援します。	○結婚支援の推進（結婚新生活支援事業の実施） ○出産支援の推進（出産応援ギフトの支給、伴走型相談支援の実施）

《施策2》教育力の強化・教育レベルの向上

子どもが学校教育を通じて、社会生活の基礎となる確かな学力を身につけるとともに、良好な人間関係を築く力を身につけることができるよう、町非常勤講師として、スクールアドバイザー、教科支援員、特別支援アシスタント、心の相談員、JTEを配置し、少人数指導・チームティーチング（TT）に取り組み学力の向上を図るとともに、「一人ひとりの子どもに応じた教育」に取り組んでいます。

令和2年度（2020年度）には、GIGAスクール構想に基づいて、学習用タブレット端末を児童生徒1人につき1台を貸与し、ICTの効果的な活用により、学習に対する興味や関心を更に高め、学習活動の充実に取り組みました。引き続き、ICT支援員による訪問支援やオンライン授業の実施など、教員のICT活用指導力の向上や主体的に学習に取り組む児童・生徒の育成のための効果的なICT機器の利活用のための各種整備や支援を進めていきます。

また、豊かな心の育成のため、引き続き人権・道徳教育に取り組むとともに、今後は優れた芸術に触れる機会を設けるなど力を入れて取り組んでいきます。

加えて、安全・安心な学校を目指して、地域との協働による活動が重要となっており、学校運営協議会を通して、町の目指す「地域を愛し、みんなで学び合う地域社会人の育成」の実現のため、取り組みを充実させていく必要があります。

しかしながら、本町の児童生徒数は年々減少しており、将来において現在の教育環境を維持していくことが困難となることが想定されます。このような状況のなか、望ましい教育環境を維持するため、学校再編も選択肢に含めた小中学校のあり方を幅広く検討していきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）		数値目標（R6）
①学力・学習状況調査 授業の理解度 （「授業の内容はよくわかりますか」が「はい」「どちらかといえばはい」の回答率）	小国	76.4%	85.0%
	小算	76.5%	85.0%
	中国	72.5%	80.0%
	中数	71.6%	80.0%

施策詳細	事業
(1) 確かな学力の育成 学校の主体性を活かした学力向上のプラン作成とともに、効果的・効率的な学力向上指導を行います。	○より学校が主体となって取り組む学力向上プランの作成 ○小学校での学力向上に繋がる少人数指導・TTの推進及びそのための支援員の雇用 ○学校の事務、行事の効率化（校務支援システムの活用）
(2) 生徒指導の充実 生徒の立場に立った生徒指導の実践により、不登校やいじめの解消、非行対策、教育相談の充実に努めます。	○いじめや不登校、問題行動への行政・学校が一体となった対応と教育相談体制の充実及びそのための支援員の雇用 ○心の教育の充実と望ましい人間関係を築く力や豊かな心の育成

施策詳細	事業
(3) キャリア教育の推進 幼児期から義務教育までの繋がりを大切にした教育の充実、地域・家庭・学校が一体となって、将来の「夢」や「希望」に繋がる体験学習を実施します。	○地域等との協働による体験学習機会の充実
(4) 特別支援教育の充実 揖斐特別支援学校や関係機関との連携、特別支援学級や通級指導による支援等の特別支援教育体制を整備します。 また、特別支援教育に関わる環境を整備します。	○一人ひとりのニーズをより大切にした特別支援教育の推進、及びそのための支援員の雇用 ○スクールアドバイザーを中心とした教諭・町非常勤講師の研修 ○バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた教育環境の整備
(5) 教育環境の整備、充実 学校施設の老朽化への対応、設備の充実とともに、少人数指導に対応した環境整備、ＩＣＴ機器の有効活用を図ります。 また、将来的な教育環境の維持のため、小中学校のあり方を幅広く検討します。	○各学校施設の老朽化対策 ○エアコン設置、照明のＬＥＤ化等による学校安全衛生基準に沿った適切な教育環境の整備 ○どの教室でも使用することができるタブレット等のＩＣＴ機器の拡充・Ｗｉ－Ｆｉの整備（学校ＩＣＴ機器の有効活用による学習活動の充実） ○大型モニターの設置等、オンライン授業実施のための整備 ○小中学校のあり方検討

基本目標 2 いつまでも健康の希望をかなえる（健康寿命をのばす）

高齢者で健康に暮らす人の割合は 86.0%となっており、更に健康寿命を延ばすには、高齢者の生きがいの場づくりや支援体制を充実していくこと、また中高年に比べ健康に対する意識が低い子育て・働きざかり世代（30代・40代）については、生活習慣病の予防やストレス解消、健康づくりの促進など若い世代に対する健康寿命の延伸に向けた取り組みが必要と考えられています。

高齢者が健康で活動的に暮らすことで、子どもの育みへの参加や経済的な支援など間接的に出生数の増加が期待されることから、高齢者の活躍の機会の不足や高齢者を支援する体制不足を改善し、高齢者・子育て世代が心身ともに健康で、活動的に暮らせる体力増進に取り組めます。

また、弱みとなっていた専門医療機関・専門医師の不足の改善を図ることのできる総合病院（西濃厚生病院）が令和5年10月に開院しました。今後は更に連携を強化し、誰もが、身近な地域で安心して医療を受けられ、いつまでも健康で暮らすことのできるまちづくりを進めていきます。

政策指標	基準値（H26）	実績値（R1）	数値目標（R6）
健康に暮らす人の割合	85.1%	86.0%	88.0%

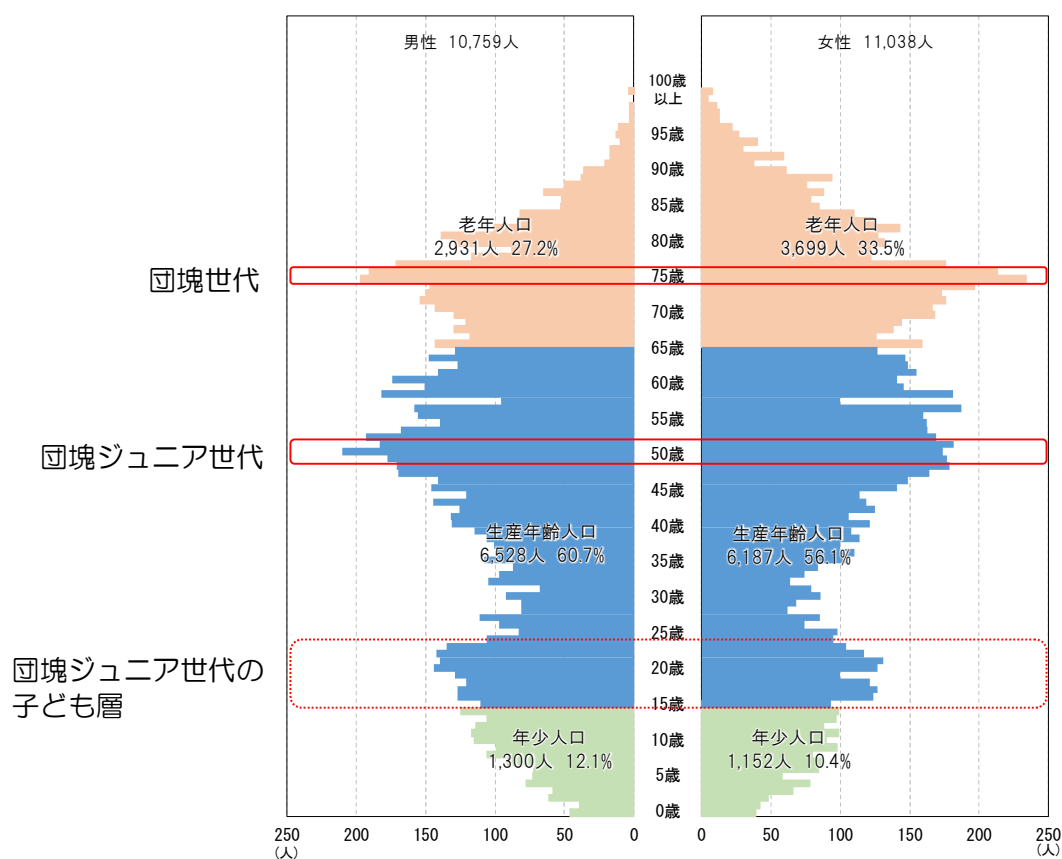
注）65歳以上で、要介護・要支援認定を受けていない方の割合

基本目標 2

いつまでも健康の希望をかなえる

《施策3》健康寿命の延伸と体力増進

図 男女別1歳階級別人口（令和6年1月1日現在）



資料：
住民基本台帳

《施策3》健康寿命の延伸と体力増進

町民一人ひとりが健康であるまちづくりを目指して、スポーツ大会等の開催による健康づくり支援の充実と、ライフステージに合わせ、各世代の特徴や対象年齢に応じた健康診査・訪問・相談・教室など各種健康に関するサービスの推進により、健康に関する意識の高揚に努めています。

令和元年度（2019年度）に行った第2次大野町健康増進計画の中間見直しに係るアンケート調査では、平成26年度（2014年度）の調査時より、運動をしている人の割合が全ての世代で増加している一方、朝食欠食率が悪化している世代が多くなっているなど、町民が自発的に生活習慣の改善に取り組めるよう支援する環境や体制づくりを検討する必要があります。また、健康診査やがん検診の受診率が低下しているため、受診しやすい環境を整備していく必要があります。

本町では65歳以上の高齢者が増加し、高齢者夫婦のみの世帯や高齢者単身世帯が増加しており、高齢者のひきこもりを誘引する可能性があります。他の世代においても、複雑化する社会の中でうつ病などのこころの病気が増加傾向にあるため、こころの健康づくりの重要性も高まっており、町ではこころの相談会や自殺予防のためのゲートキーパー養成講座の開催などを行っています。

子どもから高齢者までが時間や場所を気にすることなく気軽に取り組むことができ、世代間の交流も図ることができるノルディックウォーキングを主たるツールとして活用し、本町が持つ豊かな自然環境や地域資源を活かしながら、健康づくりと新たな地域の創生に取り組んでいきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①健康づくり等講座開催数・参加者数	52回	60回
	888人	1,000人
②成人の特定健診受診率（40歳～74歳）	36.0%	60.0%
③高齢者の健診受診率（ぎふ・すこやか健診） （75歳～）	—	40.0%
④ゲートキーパー養成講座受講者数（延べ人数）	111人	250人
⑤認知症サポーター養成講座受講者数（延べ人数）	911人	2,300人
⑥スポーツ・レクリエーションイベント参加者数	2,200人	2,300人

施策詳細	事業
(1)健康づくりの推進 生活習慣病をはじめとする疾病予防対策として、健康講座やイベント等を開催し、健康に関する意識の高揚を図ります。 生活習慣病の予防や改善に効果がある「運動」をはじめめるきっかけづくりとして、ノルディックウォーキングの普及・啓発等を支援する	○健康講座やイベント等の開催 ○運動できる環境の整備 ○ノルディックウォーキングの普及に向けた取り組み ○食育の推進

施策詳細	事業
とともに、名鉄廃線敷等をウォーキングロードとして活用し、誰もが進んで運動できる環境を整備します。 こころの健康についての知識の普及、啓発に努めるとともに、相談窓口の充実や周知、ゲートキーパー養成講座の開催など、こころの健康づくりを推進します。	○こころの健康づくりの推進
(2) 保健サービスの充実 生活習慣病等の早期発見、早期治療のための健康診査やがん検診等の内容充実を図るとともに、健康ポイントや検診予約システムの導入など、受診しやすい環境の整備に努めます。	○各種検診等の充実 ○受診しやすい環境の整備
(3) 介護予防事業の強化 地域活動への働きかけや、介護予防教室の開催を通じて、介護予防の啓発活動を強化し、体力づくりや生きがいづくりを推進します。	○介護予防教室の充実
(4) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 高齢者の交流の場の提供や社会参加しやすい環境づくりを進め、一次予防に注力し高齢者の生きがいづくりを支援します。	○地域を拠点とした教室、サークル活動の参加促進
(5) 高齢者への情報提供や相談体制の充実 高齢者に必要な福祉サービスを適切に提供するため、情報提供や相談体制を充実します。	○高齢者サービス情報の発信 ○相談窓口の設置、運用
(6) 地域支援体制の充実 可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、「介護」「予防」「医療」「生活支援」「住まい」の5つのサービスを包括的、継続的に実施し、充実した地域包括ケア体制の構築に努めます。また、認知症への理解を深め、認知症の人や家族に対してあたたかい「応援者＝認知症サポーター」の養成を推進します。	○地域ケア会議等の開催 ○関係機関との連携（各地区での支えあいの会の開催等） ○認知症サポーター養成講座の実施 ○スマホ教室の開催 ○福祉セミナーの開催 ○地域医療機関（総合病院等）との連携
(7) スポーツ・レジャー施設の整備 老朽化する既存体育施設の維持管理及び町民の需要に沿った施設の新設を含めた整備について検討します。また、施設予約システムを活用し、利用者の利便性向上を図っています。	○総合体育館の整備検討 ○運動公園の再整備 ○施設予約システムの拡充と整備
(8) スポーツ活動の振興 スポーツ、レクリエーションへの町民の関心を広く涵養し、生涯スポーツ、高齢者の健康づくりや障がい者スポーツなど、多様なスポーツ活動が実現されるよう、フォローアップを行います。	○スポーツ交流の促進 ○生涯スポーツプログラムの構築・スポーツ教室の開催 ○体育団体の活動支援

基本目標3 住みたい・住んでみたいという希望をかなえる (移住定住の促進)

本町の社会動態は継続的な転出超過状態であり、中でも15～34歳の若年層の転出傾向が顕著な状況にあることから、住みたい・住んでみたいという希望をかなえるためには、本町の弱みとなっている公共交通の利便性の向上や身近に親しめる歴史的資源などにより、現在、在住される方の町に対する愛着を育みながら、町内外に住みやすさを積極的に情報発信することにより町の魅力向上を図ることが重要です。

これら移住定住の促進に向けた課題に対し、本町の強みである自然豊かな住環境や比較的安価な地価、豊富な歴史的資源を活かした特色あるまちづくりを進め、経済的なゆとりと快適で文化的な暮らしができることをアピールしていきます。また、引き続き公共交通の利便性の向上を図るとともに、移住定住施策の更なる展開により町民の定住を促し、町外からの転入を促進していきます。

政策指標	基準値 (H26)	基準値 (R1)	数値目標 (R6)
若年層(15～34歳)転出入者数	77人の転出超過	138人の転出超過	転出超過0人

基本目標3

住みたい・住んでみたいという希望をかなえる

《施策4》地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大

《施策5》タウンプロモーションの展開

《施策6》定住環境としての魅力向上

《施策7》郷土愛の醸成・特色あるふるさとづくり

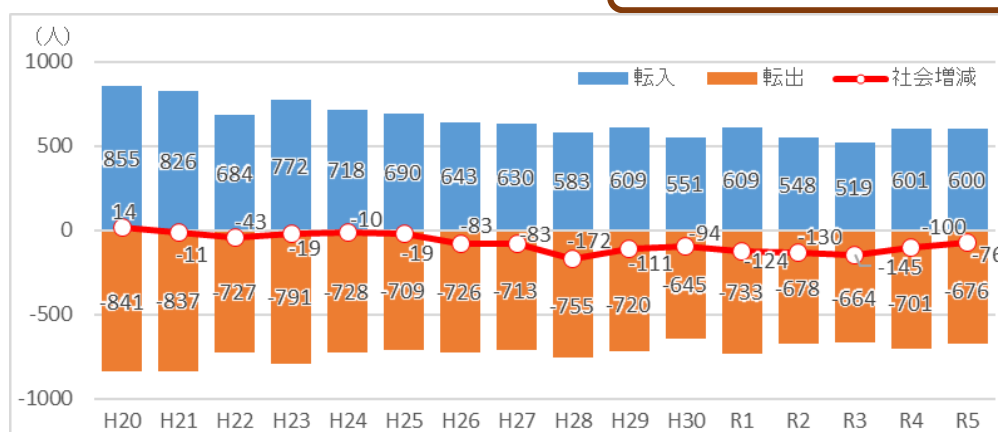
《施策8》地域活動の活性化

《施策9》公共交通の充実

《施策10》地域福祉の充実

《施策11》移住・U・I・ターン促進

図 社会動態推移



資料：
岐阜県人口
動態統計調査

《施策4》地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大

本町は、バラ苗や富有柿等の特産品、旧北岡田家住宅や史跡野古墳群等の地域資源はあるものの、特産品を利用した通年販売できる商品が少ないことや、一年を通じた観光施設の不足等の課題がありました。

しかしながら、平成30年（2018年）に、道の駅「パレットピアおおの」が開駅したことで、観光交流の拠点が整備され町内外から多くのお客様に来場いただき、観光入込客数は平成26年（2014年）の29.8万人から平成30年（2018年）は56.2万人と大幅に増加しています。また、特産品についても、「大野の太鼓判」特産品認定事業をはじめとした「おおの特産市場プロジェクト」の取り組みにより、令和元年度（2019年度）末現在で19点が特産品として認定され、大野町らしさを感じていただくうえで大きな効果を果たしています。

今後は、道の駅「パレットピアおおの」を拠点として、観光面では町内の文化財をはじめとする観光資源を周遊する観光ルートを設定しつつ、令和元年（2019年）12月に開通した大野神戸ICを活かし、西美濃圏域の玄関口として近隣市町と連携した広域的観光ネットワークを構築することで、交流人口・関係人口を増やして人やモノを呼び込み、地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大を図っていきます。商工業の面では、道の駅「パレットピアおおの」の地域振興施設において、新たな特産品・農産品の開発や販売ルートの確立等を進め、大野の太鼓判やおおのブランド野菜の充実を図ります。また、大野神戸IC周辺やテクノパーク大野への企業誘致を推進・整備し、雇用の創出や産業の振興を図っていきます。

また、福祉・防災・公共交通など本町が抱える課題を踏まえ今後の対策を見据えながら、生涯学習・子育て支援の場としての利用や広域防災拠点としての整備等必要な機能を備えるとともに、道の駅「パレットピアおおの」から名古屋駅までを結ぶ高速バス「にしみのライナー」を利活用し、公共交通利用者の増加や利便性向上に繋がる施策を展開し、定住環境としての魅力向上、移住定住の促進に繋げていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①観光入込客数（大野町全体）	67.3万人	75.0万人
②特産品の試作品数	27品	31品
③おおのブランド野菜の認定数	0品種	5品種
④名鉄廃線敷再生プロジェクトによる整備施設の満足度	—	60.0%

施策詳細	事業
(1)だれもが集える「道の駅」プロジェクト 道の駅「パレットピアおおの」は地域産業の創出の場としてはもちろん、福祉・子育て・防災・公共交通など本町が抱える課題を踏まえ今後の対策を見据えながら、必要な機能を	○「子育てはうす ぱすてる」の充実 ○道の駅「パレットピアおおの」における農産物直販施設の支援 ○大野神戸IC周辺整備検討・推進 ○観光情報発信の充実

施策詳細	事業
備えるとともに、観光客や地域住民の交流の場を創出し、活力に満ちた魅力あるまちづくりを目指します。	○道の駅「パレットピアおおの」を中心とした観光拠点整備 ○大野神戸IC周辺まちづくり事業の推進 ○総合病院等の整備促進 ○主要駅への直行便の検討、高速バスの利活用
(2) おおの特産市場プロジェクト 特産品・農産物等のPRや道の駅地域振興施設の充実を図るため、新たな特産品の開発や特産品販売ルートの確立等を目指します。	○耕作放棄地の解消及び農地の集積・集約化 ○担い手・認定農業者の確保・育成 ○6次産業化に向けた支援 ○農業基盤整備の推進 ○GAP^{※1}やHACCP^{※2}等の認証取得に向けた支援 ○「大野の太鼓判」特産品認定事業（個店の魅力化促進） ○フラワー都市交流連絡協議会等の交流自治体との連携強化 ○食育の充実と給食指導の推進
(3) 名鉄廃線敷再生プロジェクト 名鉄廃線敷に自転車道・歩道や災害時の避難路の整備を行い、課題となっている安全な通学路の確保や観光への活用など、既存ストックの有効活用を図ります。	○名鉄廃線敷を活用した災害時の避難路の整備 ○名鉄廃線敷を活用した自転車道・歩道の整備 ○名鉄廃線敷の活用（サイクリングロード） ○名鉄廃線敷を活かしたまちづくりの推進

※1）欧州の大手スーパー等の大手小売が独自に策定していた食品安全規格を標準化するための民間団体の呼称。欧州小売業組合（EUREP）が2000年にEUREPG. A. P. を設立し、2007年GLOBAL G. A. P. に改称した。

※2）「Hazard（危害）」「Analysis（分析）」「Critical（重要）」「Control（管理）」「Point（点）」の略語。食品を製造する際に安全を確保するための管理手法のこと。

《施策5》 タウンプロモーションの展開

本町には、揖斐川、根尾川の清き水と北部山麓に広がる緑の美しい山並みなどの豊かな自然や国指定史跡野古墳群などの歴史的遺産が数多く点在し、それぞれの施設が独自の魅力、可能性を持っています。それらの地域資源を活用するため、道の駅「パレットピアおおの」には、町内各地に点在する観光施設の場所や、観光案内を表示した観光案内サインを設置したり、ウォーキングルートを設定しルートサインを設置したりするなど、観光客が回遊しやすい環境の整備を進めています。また、町民も含めて町の魅力の再発見や健康増進への効果も期待されます。

令和2年度（2020年度）には、観光ボランティアガイド「美濃大野発見ガイド隊」が発足し、観光情報の発信、ガイドツアーの実施等、若い世代へ文化の伝承につなげる活動がスタートしています。

加えて、西美濃圏域を一体とした広域的な観光ルートづくりを進め、更なる観光資源の発掘を視野に入れたプロモーションを展開することで、交流人口・関係人口を増やし、人やモノを呼び込み、地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大を図っていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①観光入込客数（大野町全体） 再掲	67.3万人	75.0万人
②西美濃圏域における観光入込客数	1,403万人	1,480万人
③町ホームページのアクセス件数（月当たり）	56,340件	80,000件

施策詳細	事業
(1) おおの観光PRプロジェクト 観光客の増加と観光消費額の向上を図るため、道の駅「パレットピアおおの」を拠点とした観光・商工業地区の整備を図ります。	○大野神戸IC周辺整備検討・推進 ○広域的観光ルート（西美濃夢源回廊等）の開拓 ○観光情報発信の充実 ○道の駅「パレットピアおおの」を中心とした観光拠点整備 ○「大野の太鼓判」特産品認定事業（個店の魅力化促進） ○フラワー都市交流連絡協議会等の交流自治体との連携強化 ○大野神戸IC周辺まちづくり事業の推進 ○公園の適正な維持管理 ○大野町文化財保存活用地域計画の策定 ○旧北岡田家住宅の保存・活用 ○史跡野古墳群の保存・活用 ○文化財をめぐる観光ガイドツアー ○郷土博物館の整備（大野あけぼのミュージアムの整備・活用）
(2) 観光ネットワークの構築 観光ニーズの多様化を踏まえ、イベント、歴史、自然、伝統文化を活かした西美濃圏域を中心とした広域的観光ルートの開拓を進めます。	○広域的観光ルート（西美濃夢源回廊等）の開拓 ○町内観光施設の回遊性向上・観光ルート・散策モデルコースづくり ○観光情報発信の充実

施策詳細	事業
町内の主要な観光施設においても、相互の連携や回遊性の向上、町外施設等との連携による魅力向上などを図ります。 森林散策路を中心に史跡野古墳群や旧北岡田家住宅などの文化遺産を活用した回遊性の高い町内観光ルートの開拓を進めます。 道の駅「パレットピアおおの」をはじめ、SNS等のデジタルツールを活用し、観光情報発信の充実を図ります。 名鉄廃線敷をサイクリングロードや散歩道など新たな観光資源として活用します。	○名鉄廃線敷の活用 ○国内・海外観光プロモーション

《施策6》定住環境としての魅力向上

本町は北に山地があり二河川に挟まれた逆三角形の地形でありながら、大きな災害や事故等もなく緑豊かな自然に恵まれた土地として発展してきました。しかし、近年において、近く起こるとされる南海トラフ地震の地震防災対策推進地域としての指定を受け、また、全国的には台風や異常気象によるゲリラ豪雨などの自然災害により甚大な被害も発生しており、今後は、あらゆる災害に対する防災対策を進めるとともに、誰もが住みたい魅力あるまちとして、居住環境の向上を図っていく必要があります。

これらのことを踏まえ、まちとしての魅力の向上を図るために、道の駅「パレットピアおおの」を観光拠点と一体となった防災拠点として整備しました。災害時の支援物資受け入れや自衛隊などの活動拠点となる県の広域防災拠点に指定されており、飲料水兼用耐震性貯水槽やマンホールトイレ等の防災機能を有した施設となっています。

大野神戸ICの開通や道の駅「パレットピアおおの」に接続する幹線道路網整備等による緊急輸送道路の確保をはじめとする交通利便性の向上、また、名鉄廃線敷を緊急時の避難路として活用することによる防災力の向上等を推進するとともに、地域防災力の向上を図るために自主防災組織の活動支援や防災教育の実施に力を入れて取り組みます。

近年増加がみられる空家においても、空家バンクの活用による情報提供や、空家対策に関する施策として改修・除却に対する費用補助を実施するなど空家の利活用の促進に取り組んでおり、現在実施している定住促進施策とあわせて引き続き定住環境向上施策についても推進していきます。

また、環境施策についてもエコタウンおおの基本計画（後期計画）に基づき、環境と共生した持続可能なまちづくりを目指した施策に取り組み、居住したいまちの魅力づくりを行っていくことで本町の強みである定住環境としての魅力向上を図っていきます。令和3年（2021年）12月には「ゼロカーボンシティ宣言」により、豊かな自然環境と経済が調和し、町民が快適に、また安心して住むことができる環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①空家の活用	0件	28件
②防災啓発（教育）活動における受講者数	74人	100人
③防災リーダー（防災士）の人数	34人	46人
④汚水処理人口普及率	75.9%	90.0%（R7）

施策詳細	事業
(1) 空家の有効活用 近年増加がみられる空家について、地域との協働により、住環境の改善、防犯対策の観点から対策を実施します。	○空家活用の実施（空家等改修・除却に対する補助の実施） ○空家バンク登録の推進

施策詳細	事業
(2) 定住環境向上施策の推進 良質な民間住宅の立地支援策や移住定住施策と連携した新築住宅取得支援を推進します。また、南海トラフ地震や内陸直下型による巨大地震による被害が懸念されている中、被害軽減のため、旧耐震基準の木造住宅の耐震化を支援します。	○省エネルギー・再生可能エネルギー設備設置助成 ○木造住宅耐震化への支援
(3) 防災拠点・緊急輸送道路等の整備 名鉄廃線敷の有効活用等により、町及び広域的な防災拠点等の整備を図ります。災害時の避難路として利用する名鉄廃線敷や、緊急輸送道路、河川、水路等の整備を引き続き図ります。	○名鉄廃線敷の有効活用による防災力の向上 ○名鉄廃線敷を活用した災害時の避難路の整備 ○緊急輸送道路等の整備
(4) 防災意識の高揚及び地域防災活動の充実 地域や事業所の自主防災組織との協働による防災訓練の実施、女性や子どもを対象にしたクラブ活動の実施等を通じて防災意識の高揚を図るとともに、地域の実情に応じた防災体制を育成します。また、防災力の向上と減災の活動を普及するため、十分な意識・知識・技能を有する防災士の育成支援を図り、地域の防災リーダーを育てます。更に、女性防火クラブ員が消防署と連携し、火災予防の普及・啓発を図ります。	○防災訓練（リモートによる分散型訓練）の実施 ○自主防災組織化促進及び活動支援 ○防災啓発活動（防災教育） ○耐震性貯水槽整備 ○防災士の育成支援 ○火災予防活動
(5) 広域幹線道路の整備 交通ネットワークの構築と安全で快適な道づくりのため、積極的に広域幹線道路の整備促進に向けた取り組みを進めます。また、東海環状自動車道の早期整備促進及びテクノパーク大野のアクセス道路など、幹線道路の整備促進に向けた取り組みを進めます。	○大野神戸 I C から町内外の各拠点を結ぶ広域的な道路網の整備 ○揖斐都市計画道路整備に関する県への強い要望と早期完了
(6) 生活道路・散策道の整備 地域住民の利便性と安全性に配慮し、歩道整備を含めた人にやさしい道路づくりを推進します。名鉄廃線敷を有効活用し、通学路や日常の散歩道、災害時の避難路として安心して利用できる自転車道・歩道を整備します。	○通学路を中心とした歩道整備の推進 ○人にやさしい道路づくりの推進 ○名鉄廃線敷を活用した自転車道・歩道の整備
(7) 脱炭素社会の構築 温室効果ガスの排出抑制や吸収作用の保全・強化を促進するとともに、再生可能エネルギー設備システムの設置などによる自然	○再生可能エネルギー設備システム設置に対する補助金交付の推進 ○広報紙等による再生可能エネルギー設備システム

施策詳細	事業
エネルギーの導入促進を図り、脱炭素社会の構築に向けた取り組みを進めます。 環境に配慮したＬＥＤ灯の設置を推進します。	設置のＰＲ ○エネルギーステーションの整備 ○ＬＥＤ灯の設置
(8) 污水处理施設の整備 西濃地域循環型社会形成推進地域計画に基づき設置補助を継続することにより、高度処理型合併処理浄化槽の設置を推進します。また、集合型への補助金交付制度を国や県に強く働きかけます。	○個人設置及び集合型の高度処理型合併処理浄化槽の普及、推進、補助の確立

《施策7》郷土愛の醸成・特色あるふるさとづくり

本町は、国宝絹本著色五大尊像をはじめとする国・県・町指定・登録文化財が171件（令和元年（2019年）12月現在）、史跡野古墳群など埋蔵文化財包蔵地96カ所、町の2分の1を占める古代条里制の跡など、歴史遺産の宝庫であり、豊臣秀吉の軍師竹中半兵衛や幕末の志士所郁太郎など歴史上大きな働きをした先人も輩出しています。

大野の条里シンポジウムの開催や嚶鳴フォーラムへの参加等により、町の歴史遺産の魅力やこれまでの調査成果は着実に評価されつつあり、引き続き町内での認知度や価値・魅力に対する理解度を高め、歴史や文化財を大切にしようとする機運の高揚や郷土愛の醸成につなげていく必要があります。

今後は、文化財の持つ魅力を引き出すために、文化財マップや文化遺産カードなどを作成し、地域資源として町内外に情報・魅力を発信していきます。また、埋蔵文化財を中心に町が保有する歴史資料の常設展示・公開を行う施設として、大野町埋蔵文化財センター「大野あけぼのミュージアム」を整備し、近年の映像技術（プロジェクションマッピング）を用いた展示や企画展の開催など、郷土学習や観光振興の拠点として活用しています。さらに、観光ボランティアガイドによる文化財をめぐる観光ガイドツアーを実施し、観光資源として文化財を活用し、その魅力を町内外に発信しています。

文化財保護の意識向上を図るとともに、文化財を地域資源・観光資源として評価し積極的に活用することを通して、郷土愛の醸成に繋げていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①町の歴史や文化に興味がある町民の割合	41.7%	50.0%
②歴史や伝統文化に係る活動への参加者数	566人	570人
③郷土博物館の年間来場者数	—	1,000人

施策詳細	事業
(1)文化財の保存・活用 貴重な文化遺産を後世に伝えるため、文化財の管理、保全に努めるとともに、長期的展望に基づく全ての文化財の保存・活用施策を位置づけます。 史跡野古墳群の保存活用計画を策定し、面的指定と農村景観の保全に向けた取り組みを進めます。 文化財を観光資源として積極的に活用し情報発信することで、文化財保護の意識向上と地域資源として魅力向上を図ります。	○大野町文化財保存活用地域計画の策定 ○旧北岡田家住宅の保存・活用 ○史跡野古墳群の保存・活用 ○文化財をめぐる観光ガイドツアー
(2)教育・普及・啓発の充実 文化財の周知に努めるとともに、文化財保護意識の啓発や郷土の歴史的・文化的遺産に対する理解の深化を図る取り組みを通して、町民の郷土に対する誇りや愛着を涵養します。	○郷土の先人顕彰事業 ○学校教育・社会教育における郷土学習の充実 ○歴史・文化財情報の普及促進 ○郷土博物館の整備（大野あけぼのミュージアムの整備・活用）

施策詳細	事業
町の歴史や文化財を紹介し、郷土学習や観光振興の拠点となる、常設の博物館施設の整備・活用に向けた取り組みを進めます。	

《施策8》地域活動の活性化

令和元年度（2019年度）時点で、総合町民センターでは28教室、32サークル、中央・各地区公民館では38講座、151クラブ・サークルの活動が展開されています。しかし講座や参加者の固定化、自主性の低下や若年層に関心の高い事業が少ないなど次代を担う地域文化が醸成されにくい面もあり、今後新たな活動への展開も求められています。

町民が自分に適した学習機会を選択できるよう、需要や地域の実情を的確に把握したうえで必要な講座等を開催し、各団体や学校等と幅広く連携しながら、指導者の育成や、学習した成果を発揮し社会に還元できるような活躍の場を提供するなどの支援が必要です。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①日頃から隣近所の人たちと付き合いや交流がある町民の割合	70.7%	80.0%
②青少年による諸活動への参加者数	361人/年	380人/年

施策詳細	事業
(1) 地域力を高めるまちづくりの推進 地域や小中学校での福祉教育を充実させ、地域福祉活動を担う人材を育成し、地域福祉ネットワークの強化と参加促進、地域の実情に応じた柔軟な支援を行います。 地域の慣行を見直し、地域社会の様々な分野・立場において対等なパートナーシップを確立し、すべての人が共に担う地域社会づくりを推進します。	○ボランティア活動の推進・支援 ○福祉教育（福祉協力校）と世代間交流の推進 ○地域福祉活動を担う人材の確保・育成
(2) 社会教育組織の活性化 社会教育委員会を中心に協議機関等を整理・集約し、定期的に会議を開催することにより事業の進行状況や現状の把握に努め、対応力を高めます。 公民館を中心とする世代間交流事業を支援し、地域ぐるみの青少年健全育成を推進します。	○社会教育委員会の定期開催 ○類似組織等の整理、集約 ○諮問機関等の専門性の向上 ○地域ぐるみの青少年育成の推進 ○世代間交流事業の促進

《施策 9》公共交通の充実

本町は近隣する都市への通勤圏地域として、比較的安価な土地というメリットを活かし移住支援策を促進してきましたが、名鉄の廃線により、通勤・通学などを主な目的とし、重要な役割を果たしてきた区域外への移動手段の確保が困難となったことで、町内を含め区域外へのアクセスの充実など公共交通の利便性を向上させることが最大の課題として浮き彫りとなりました。

これらの課題を解決するため、町内においては、デマンドタクシー「あいのりくん」の停留所の増設や予約受付を利用の「1時間前まで」から「30分前まで」対応可能にするなど改善を図りました。また、町外へのアクセスについては、道の駅「パレットピアおおの」の開駅に併せて、岐阜バスの大野忠節線の延伸、名阪近鉄バスの大垣大野線の一部ダイヤについて乗り入れを開始し、また、瑞穂市、本巣市、北方町と構成する2市2町広域公共交通連絡会議での協議を元に、大野穂積線の快速便を導入するなど、公共交通の利便性向上に取り組むとともに、路線バス等の公共交通機関を利用していただくために、高校生の通学定期券等の購入補助や岐阜バスICカードの助成事業といった公共交通機関の利用促進にも力を入れて取り組んでいます。

しかしながら、町民アンケートでは、満足度の向上など一定の評価をいただいたものの、依然として他の施策と比較すると満足度は低い結果となっています。これらの課題の改善を図るため、今後のまちづくりの観点から路線バス、デマンドタクシー、高速バス、コミュニティバス等を総合的に検討し、本町の公共交通のあり方や対応方針を定めた大野町地域公共交通計画を策定しました。そして、令和3年（2021年）7月には、名古屋方面への重要なアクセス手段となる、道の駅「パレットピアおおの」と名古屋駅を結ぶ高速バス「にしみのライナー」の実証実験としての運行が開始され、広域移動の利便性向上など様々な効果が期待されております。本町としても回数券購入助成事業を実施する等、高速バスの利用促進に取り組んでいます。今後も多様化する住民生活のニーズにきめ細やかに対応できる地域特性に応じた公共交通ネットワークの実現に向けて、運行事業者、近隣市町等と連携しながら取り組んでいくことで、公共交通の充実に繋げていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①デマンドタクシー利用者数	9,873人	15,000人
②デマンドタクシー自宅前登録者のうち1年以内に利用したことがある人の割合	30.1%	50.0%
③町内バス停の年間利用者数※	49,461人	60,000人
④通勤通学や買い物等の日常生活の移動に不便を感じている町民の割合	48.9%	40.0%

※岐阜バスの大野穂積線、大野忠節線、モレラ忠節線、真正大縄場線の年間（前年10月～当年9月）降車利用者数（現金利用・アユカ利用含む）

施策詳細	事業
(1)既存路線バスの運行充実 大野バスセンター及び道の駅「パレットピアおおの」から鉄道の主要駅までの移動手	○ダイヤの充実

施策詳細	事業
段として、また通学の交通手段として重要なバス交通について、バス事業者と連携し路線や運行の充実を図ります。	
(2) 交通ネットワークの整備 住民の広域生活圏である名古屋市、岐阜市、大垣市等へのアクセスを考慮し、大野バスセンター及び道の駅「パレットピアおおの」を中心とし、生活に密着した公共交通ネットワークづくりを推進します。また、主要駅への直行便の検討、高速バスの利活用を図ります。 町民のニーズとまちづくりの観点を踏まえ、地域特性に応じた公共交通ネットワークの形成に係る計画を策定し、町民、運行事業者、近隣市町等と連携しながら実現に向けて取り組めます。	○主要駅への直行便の検討、高速バスの利活用 ○路線バスの路線維持・拡充 ○大野町地域公共交通計画に基づく進捗管理
(3) バス利用促進のための環境整備 バス利用を促進するため、利用環境の向上を図るとともに、利用補助の拡充を図ります。 公共交通マップを作成し、公共交通に係る情報を発信することで、利用のきっかけづくりに取り組めます。	○バス停留所の整備 ○通学定期券等の購入費用に対する補助の推進 ○アユカ助成の推進 ○高速バス回数券助成の推進
(4) デマンドタクシーの運行充実 町デマンドタクシーについて、運営や運行方法に対しての町民ニーズを的確に把握し、更なる利便性の向上に努めます。 総合病院（西濃厚生病院）へのアクセスを確保し、住民サービスの向上を図ります。	○デマンドタクシーの運行実施・運行形態の拡充検討 ○タクシー利用助成の実施（あいのりくんプラス）

《施策10》地域福祉の充実

本町も核家族化や少子高齢化が進み、家庭だけで家族の地域生活を支え続けられない世帯が増加しています。これまで、民生委員・児童委員、福祉委員、日赤奉仕団、自治会等の持つ「地域の力」で、行政と連携し、地域交流サロンの実施や見守り活動を中心とした支援活動を行ってきました。今後も、そういった活動とあわせて、新たに各地区で開催する「支えあいの会」を通して地区の実情に応じた支えあい体制を構築し、地域住民同士が助けあい、支えあう意識を高めることで、「地域に見守られている」という安心感を得ながら、地域での生活を送ることができるよう、また災害等有事の際に助け合う見守りネットワークの強化を図ることを推進します。

また、一つの世帯で複数の課題を抱えている等、住民からの相談内容の複雑化・複合化も見られるようになりました。この状況に対応するため、関係機関が連携し分野を超えた重層的支援を行う体制を整備します。

必要とする福祉サービスを必要とする人が取捨選択し、地域生活での不便を解消できるような相談支援を含む支援体制や、地域生活支援事業や自立支援事業、療育支援をはじめとした障がい者（児）福祉事業の充実を図り、地域生活支援を推進します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①地域交流サロンでの交流者数	3,444 人	4,300 人
②日頃から隣近所の人たちと付き合いや交流がある町民の割合 再掲	70.7%	80.0%
③避難行動要支援者名簿登録者における個別避難計画の作成者数	—	500 人

施策詳細	事業
(1)個人やお互いの安心を支えるための取り組みの推進 制度やサービスの情報を提供しながら、見守りや地域交流、相談体制、福祉サービス基盤の充実を図り、町民一人ひとりの人権の尊重を目指します。	○福祉に関する情報提供及びサロン活動の充実 ○暮らしの問題を気軽に相談できる体制の構築 ○成年後見制度等権利擁護の推進 ○重層的支援体制の整備
(2)障がい者福祉サービスの充実 障がい者の在宅での総合支援を充実し、地域生活支援事業や就労移行支援事業などの福祉サービスについて、更なる充実を図り、自立と共生する地域の実現を目指します。	○障がい者相談支援事業、地域生活支援事業、就労移行支援事業の拡充 ○非営利組織による公的制度外の生活支援サービスの推進
(3)安全安心な暮らしを支えるための取り組みの推進 避難行動要支援者台帳や要支援者マップ等の整備をはじめ、行政と地域、関係機関・団体との情報の共有を図るなど、避難行動要支援者の避難支援体制の強化を図ります。	○避難行動要支援者台帳や要支援者マップ等の整備 ○見守りネットワークの充実

《施策11》移住・UJIターンの促進

本町は、岐阜市・大垣市から車で約30分の距離にあり、土地も近隣市街地に比べ比較的安価であることから、社会動態では住宅事情を理由に町外から転入する人が多く、住宅選好における優位性があることがうかがえます。

しかしながら、高校生や大学生の通学においては、名鉄揖斐線の廃線の影響が大きく、岐阜市方面や大垣市方面に路線バスが走っているものの、運行本数や最終便の運行時間、速達性といった点で不満を感じている方が多くいる状況です。

また、近隣に大学や働く場が少ないことから、町を離れる人も多いのが現状であり、進学や就職で町を離れた人にいかに戻ってきてもらうかが課題となっています。

これらの課題を踏まえ、今後は道の駅「パレットピアおおの」を町内外への情報発信の拠点として活用し、本町の良質な住環境など町の魅力を広くアピールするとともに、公共交通の利便性の向上や子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境の充実に取り組んでいくことで、町外・県外からの移住や一度は町を離れた人のUJIターンの促進に繋がっていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①定住奨励金申請件数（累積件数）	400 件	700 件
②空家の活用 再掲	0 件	28 件

施策詳細	事業
(1) 移住定住施策の推進 移住定住補助金や移住支援補助金、高速バスの通学補助金等の移住定住支援の推進、移住定住に関する相談窓口の充実など、大野町の住みやすさをアピールし、町内への移住定住を促進します。	○新築住宅の移住定住補助の実施 ○東京圏からの移住支援補助の実施 ○清流の国ぎふ移住支援補助の実施 ○高速バスの通学定期券等補助の推進 ○移住定住相談窓口の充実
(2) 定住環境向上施策の推進 良質な民間住宅の立地支援策や移住定住施策と連携した新築住宅取得支援を推進します。また、南海トラフ地震や内陸直下型による巨大地震による被害が懸念されている中、被害軽減のため、旧耐震基準の木造住宅の耐震化を支援します。	○省エネルギー・再生可能エネルギー設備設置助成 ○木造住宅耐震化への支援

基本目標 4 働きたいという希望をかなえる（地域産業の活性化）

町内の働く場が減少するなか、職住近接で働きたいという町民の希望をかなえるためには、新産業の誘致とともに、地域資源の有効活用や道の駅「パレットピアおおの」の活用が課題となっています。

これら雇用創出に向けた課題に対し、大野神戸ICの開通により、本町の強みとなる広域での交通利便性と西美濃圏域の玄関口としての立地を最大限に活かし、テクノパーク大野や集客拠点として期待される道の駅「パレットピアおおの」を中心とした周辺地域への企業誘致を推進しています。令和5年（2023年）10月に西濃厚生病院が開院し、また令和7年度（2025年度）にはイビデン㈱の新工場が一部操業を開始するなど新たな雇用の創出、地域産業の活性化には大きな期待が持たれています。また、6次産業化の推進などによる地域産業の活性化を図り、地域資源の活用不足という弱みを改善するために、道の駅「パレットピアおおの」等を活用しながら取り組んでいます。

政策指標	基準値（H24）	実績値（H28）	数値目標（R6）
町内事業所における従業者数	6,678人	7,272人	7,200人

基本目標 4

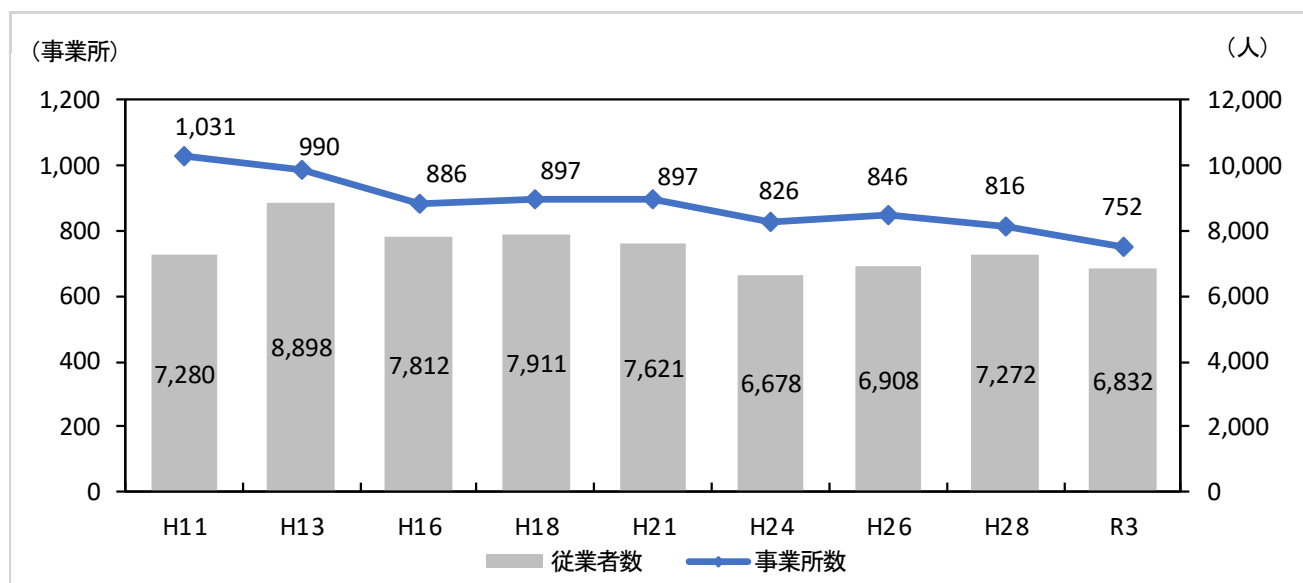
働きたいという希望をかなえる

《施策12》地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大 **【再掲】**

《施策13》新産業の創出・商工業の振興

《施策14》農業の活性化・担い手育成

図 事業所数・従業者数の推移



資料：平成3～18年

平成21年、平成26年

平成24年、平成28年、令和3年

事業所・企業統計調査

経済センサス基礎調査

経済センサス活動調査

《施策 12》地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大

本町は、バラ苗や富有柿等の特産品、旧北岡田家住宅や史跡野古墳群等の地域資源はあるものの、特産品を利用した通年販売できる商品が少ないことや、一年を通じた観光施設の不足等の課題がありました。

しかしながら、平成 30 年（2018 年）に、道の駅「パレットピアおおの」が開駅したことで、観光交流の拠点が整備され町内外から多くのお客様に来場いただき、観光入込客数は平成 26 年（2014 年）の 29.8 万人から平成 30 年（2018 年）は 56.2 万人と大幅に増加しています。また、特産品についても、「大野の太鼓判」特産品認定事業をはじめとした「おおの特産市場プロジェクト」の取り組みにより、令和元年度（2019 年度）末現在で 19 品が特産品として認定され、大野町らしさを感じていただくうえで大きな効果を果たしています。

今後は、道の駅「パレットピアおおの」を拠点として、観光面では町内の文化財をはじめとする観光資源を周遊する観光ルートを設定しつつ、令和元年（2019 年）12 月に開通した大野神戸 I C を活かし、西美濃圏域の玄関口として近隣市町と連携した広域的観光ネットワークを構築することで、交流人口・関係人口を増やして人やモノを呼び込み、地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大を図っていきます。商工業の面では、道の駅「パレットピアおおの」の地域振興施設において、新たな特産品・農産品の開発や販売ルートの確立等を進め、大野の太鼓判やおおのブランド野菜の充実を図ります。また、大野神戸 I C 周辺やテクノパーク大野への企業誘致を推進・整備し、雇用の創出や産業の振興を図っていきます。

また、福祉・防災・公共交通など本町が抱える課題を踏まえ今後の対策を見据えながら、生涯学習・子育て支援の場としての利用や広域防災拠点としての整備等必要な機能を備えるとともに、道の駅「パレットピアおおの」から名古屋駅までを結ぶ高速バス「にしみのライナー」を利活用し、公共交通利用者の増加や利便性向上に繋がる施策を展開し、定住環境としての魅力向上、移住定住の促進に繋げていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①観光入込客数（大野町全体） 再掲	67.3 万人	75.0 万人
②特産品の試作品数 再掲	27 品	31 品
③おおのブランド野菜の認定数 再掲	0 品種	5 品種
④名鉄廃線敷再生プロジェクトによる整備施設の満足度 再掲	—	60.0%

施策詳細	事業
(1)だれもが集える「道の駅」プロジェクト 道の駅「パレットピアおおの」は地域産業の創出の場としてはもちろん、福祉・子育て・防災・公共交通など本町が抱える課題を踏まえ今後の対策を見据えながら、必要な機能を備えるとともに、観光客や地域住	○「子育てはうす ぱすてる」の充実 ○道の駅「パレットピアおおの」における農産物直販施設の支援 ○大野神戸 I C 周辺整備検討・推進 ○観光情報発信の充実

施策詳細	事業
民の交流の場を創出し、活力に満ちた魅力あるまちづくりを目指します。	○道の駅「パレットピアおおの」を中心とした観光拠点整備 ○大野神戸IC周辺まちづくり事業の推進 ○総合病院等の整備促進 ○主要駅への直行便の検討、高速バスの利活用
(2) おおの特産市場プロジェクト 特産品・農産物等のPRや道の駅地域振興施設の充実を図るため、新たな特産品の開発や特産品販売ルートの確立等を目指します。	○耕作放棄地の解消及び農地の集積・集約化 ○担い手・認定農業者の確保・育成 ○6次産業化に向けた支援 ○農業基盤整備の推進 ○GAPやHACCP等の認証取得に向けた支援 ○「大野の太鼓判」特産品認定事業（個店の魅力化促進） ○フラワー都市交流連絡協議会等の交流自治体との連携強化 ○食育の充実と給食指導の推進
(3) 名鉄廃線敷再生プロジェクト 名鉄廃線敷に自転車道・歩道や災害時の避難路の整備を行い、課題となっている安全な通学路の確保や観光への活用など、既存ストックの有効活用を図ります。	○名鉄廃線敷を活用した災害時の避難路の整備 ○名鉄廃線敷を活用した自転車道・歩道の整備 ○名鉄廃線敷の活用（サイクリングロード） ○名鉄廃線敷を活かしたまちづくりの推進

《施策13》新産業の創出・商工業の振興

本町では、平成21年（2009年）に町内の大手企業が撤退したことにより製造品出荷額が約半分にまで減少しています。商品販売額についても平成6年（1994年）に大きく増加した後ほぼ横ばいの状況が続いていましたが、平成19年（2007年）から平成26年（2014年）にかけて一旦減少しました。平成28年（2016年）には再び増加したものの、この傾向を維持していくことが求められています。

そこで、町全体に停滞が続く産業の立て直しを図るため、大野神戸IC周辺地域やテクノパーク大野といった集約した工場用地を整備し、企業誘致を推進していきます。そして、企業立地促進条例に基づく工場等設置等奨励金、雇用促進奨励金を最大限に活かした企業誘致を行うとともに、高度なスキルを持った人材と企業とのマッチングを図るなど、企業の成長を人材確保の面での相談支援や広域連携による創業支援などの施策を展開していきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①大野町企業立地促進条例に基づく奨励金措置を受けた事業所数	8事業所	14事業所
②企業誘致件数（累計）	—	3事業所
③小売業の年間商品販売額	16,336百万円（H28）	16,000百万円
④創業希望者の支援件数（西美濃圏域）	18件	57件

施策詳細	事業
(1) 商工業地区の整備 主要幹線沿いを中心とした商業の活性化に努めます。 道の駅「パレットピアおおの」の整備と合わせた商業施設等の整備・誘致を推進し、大野神戸ICを中心とした新たな土地利用計画や、物流拠点・商業施設の整備に対する適正な指導を図ります。 テクノパーク大野や大野神戸IC周辺への企業誘致を進め、雇用の創出・確保をはじめ、産業の振興を図ります。	○主要幹線沿いにおける物流拠点・商業施設の整備に対する適正な指導・誘導 ○大野神戸IC周辺整備検討・推進 ○テクノパークの整備促進 ○関係機関と連携した企業誘致活動の展開
(2) 企業誘致の促進 企業立地促進条例に基づく奨励金の活用を推進し、積極的な優良企業の誘致に努めます。	○大野町企業立地促進条例に基づく工場等設置等奨励金、雇用促進奨励金交付
(3) 商工業者の活性化 商工業者の活性化を図るため、町商工会と連携して新商品の開発や掘り起こしなどの魅力創出に向けた取り組みを検討するとともに、道の駅「パレットピアおおの」等での販売を目指します。	○商品開発・販売促進への支援 ○農商工連携の強化に向けた取り組み

施策詳細	事業
活性化を図るために、商品開発など意欲ある商工業者への支援を推進します。 商工など町内各産業の横の連携強化や広域的な連携の強化を図ります。	
(4) 広域連携による産業振興と雇用促進 西美濃圏域内の創業支援やUターン・Iターン支援、首都圏・関西圏大学への企業紹介により企業支援を行います。	○創業支援情報の提供、中途就職支援サイトの活用による支援 ○首都圏・関西圏大学内企業展での参加支援

《施策 14》 農業の活性化・担い手育成

本町は豊富な水に恵まれ、肥沃な土壌を生かした水稻を中心とする水田農業をはじめ、全国有数の生産地である柿やバラ苗を中心とした農業が行われてきました。

しかし、近年は農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、農業従事者の高齢化や後継者不足による農業従事者の減少により農地面積の減少、耕作放棄地の増加が課題となっています。

本町における担い手への農地の利用権設定は、平成 31 年（2019 年）4 月時点で 43.6%となっています。国の掲げる今後 5 年間で担い手の農地利用を全農地の 8 割とする目標を達成するために、今後は人と農地の問題解決に向けた「人・農地プラン」から法定化された地域計画（目標地図）を策定し、農地中間管理機構との連携による農地の集積・集約化を引き続き推進する必要があります。また、作業の省力化、労働時間の短縮により経営体制を強化するため、ICT 技術を活用したスマート農業※を推進していきます。

近年は、シカ、イノシシ、カラス、サル等による農作物被害により、農業所得の減少や労働意欲が低下していることから、町と地域が一体となって被害防止を図る必要があります。

町全体の農地を地域活性化資源と捉え、農地として守っていくところと都市化を図るところを整理したうえで、町の基幹産業である農業の活性化や、新たな魅力の創出を目指して、民間活力導入による観光農園・産業振興施設の検討・整備に取り組みます。

※ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化、高品質生産を実現することを推進している新たな農業

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①担い手への農地の利用集積	47.5%	60.0%
②認定農業者数（累計）	44 経営体	49 経営体
③おおのブランド野菜の認定数 再掲	0 品種	5 品種

施策詳細	事業
(1) 農地の集約化 農地の集積・集約化と優良農地の保全を図るため、いび川農業協同組合や農地中間管理機構と連携した取り組みを進めるとともに、利用権設定に関する普及啓発を図ります。	○利用権設定に関する普及啓発 ○耕作放棄地の解消及び農地の集積・集約化
(2) 農業の担い手育成と生産体制整備 生産者組織の再編や地域営農組織の法人化も含め、地域の中心となる担い手を確保しつつ、就農補助金やスマート農業等の設備導入補助金の活用等、農業の担い手が一人でも多く意欲を持って就農できる環境づくりを進めます。また、農業の担い手を育成	○新規就農の参入促進 ○担い手・認定農業者の確保・育成 ○地域営農組織の法人化による生産組織の強化・再編 ○6次産業化に向けた支援 ○農業基盤整備の推進

施策詳細	事業
し、新規就農者の参入を確保します。 6次産業化に向けて、関係機関と連携しながら研修会を開催するなど取り組む農家を支援します。	
(3) 農業を身近に感じる環境・機会の創出 道の駅「パレットピアおおの」を利活用するとともに、農業体験イベントの開催や関係機関と連携した取り組みを進めるなど、農業を身近に感じられる機会の創出を図ります。 町全体の農地を地域活性化資源と捉え、関係機関と連携し、優良な農地を活かした民間活力導入による観光農園等の整備を推進します。	○道の駅「パレットピアおおの」における農産物直売施設への支援 ○農業が持つ多面的機能への取り組み ○農業を活かした「新たな魅力の創出」を図る観光農園・産業振興施設整備の検討
(4) 環境負荷低減農業の推進 有機物等を有効に活用した土づくり並びに環境への負荷の大きい化学肥料、化学合成農薬等を節減し、環境にやさしい農業を推進します。	○化学肥料及び化学農薬の使用量削減による環境への負荷軽減の推進（有機農産物の生産促進） ○GAPやHACCP等の認証取得に向けた支援

基本目標5 訪れてみたい・もてなしたいという希望をかなえる (交流人口の拡大)

本町の観光入込客数は30万人と近年では横ばいもしくは減少傾向となるなか、平成30年(2018年)7月に開駅した道の駅「パレットピアおおの」は、1年間で約50万人(レジカウント数)を記録し、その結果、平成30年(2018年)の観光入込客数は約56.2万人に増加しました。

今後は、大野神戸ICの開通により、強みとなる広域での交通利便性と西美濃圏域の玄関口としての立地、観光拠点として期待される道の駅「パレットピアおおの」の魅力発信により集客力の向上を図ります。また、豊富な地域資源を活かした取り組みにより、弱みである観光資源の活用不足を克服し、更なる交流人口の拡大と観光を契機とした関係人口の創出を目指していきます。具体的な取り組みとしては、道の駅「パレットピアおおの」を核として特産品を充実させ、名鉄廃線敷や町の豊富な文化財等を地域資源として活用し、これら観光資源をPRするタウンプロモーションを積極的に展開していきます。

政策指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	数値目標 (R6)
観光入込客数(大野町全体)	30.0万人	67.3万人	75.0万人

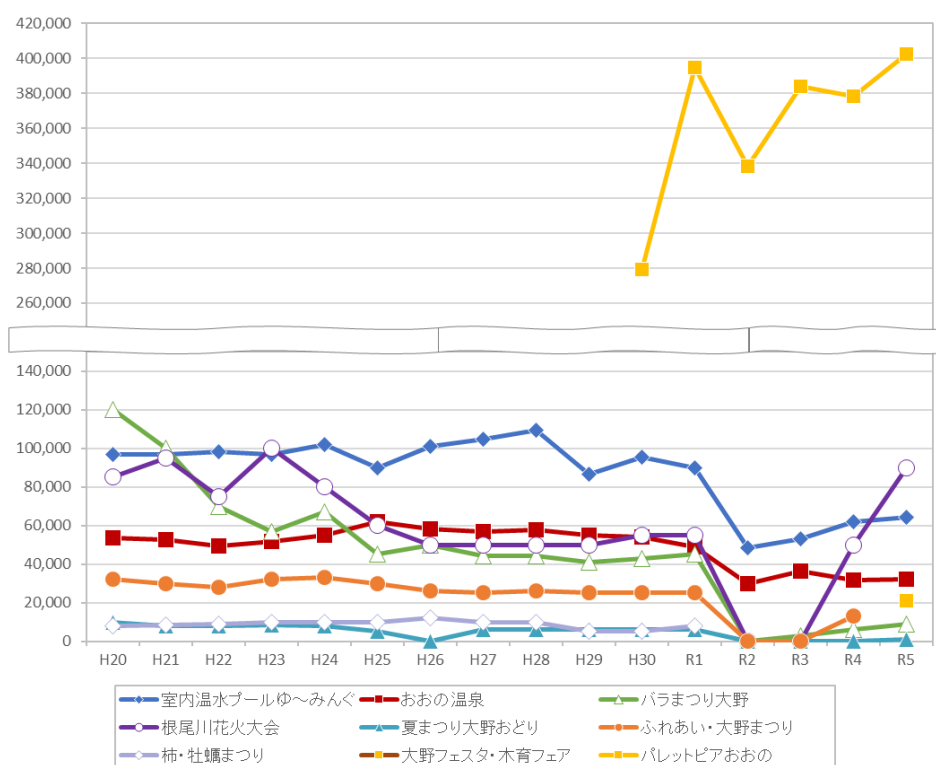
基本目標5

訪れてみたい・もてなしたいという希望をかなえる

《施策15》タウンプロモーションの展開
【再掲】

《施策16》地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大
【再掲】

図 大野町の観光地点・イベント等の入込客数 (資料：岐阜県観光入込客統計調査)



《施策 15》 タウンプロモーションの展開

本町には、揖斐川、根尾川の清き水と北部山麓に広がる緑の美しい山並みなどの豊かな自然や国指定史跡野古墳群などの歴史的遺産が数多く点在し、それぞれの施設が独自の魅力、可能性を持っています。それらの地域資源を活用するため、道の駅「パレットピアおおの」には、町内各地に点在する観光施設の場所や、観光案内を表示した観光案内サインを設置したり、ウォーキングルートを設定しルートサインを設置したりするなど、観光客が回遊しやすい環境の整備を進めています。また、町民も含めて町の魅力の再発見や健康増進への効果も期待されます。

令和 2 年度（2020 年度）には、観光ボランティアガイド「美濃大野発見ガイド隊」が発足し、観光情報の発信、ガイドツアーの実施等、若い世代へ文化の伝承につなげる活動がスタートしています。

加えて、西美濃圏域を一体とした広域的な観光ルートづくりを進め、更なる観光資源の発掘を視野に入れたプロモーションを展開することで、交流人口・関係人口を増やし、人やモノを呼び込み、地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大を図っていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①観光入込客数（大野町全体） 再掲	67.3 万人	75.0 万人
②西美濃圏域における観光入込客数	1,403 万人	1,480 万人
③町ホームページのアクセス件数（月当たり） 再掲	56,340 件	80,000 件

施策詳細	事業
(1) おおの観光PRプロジェクト 観光客の増加と観光消費額の向上を図るため、道の駅「パレットピアおおの」を拠点とした観光・商工業地区の整備を図ります。	○大野神戸IC周辺整備検討・推進 ○広域的観光ルート（西美濃夢源回廊等）の開拓 ○観光情報発信の充実 ○道の駅「パレットピアおおの」を中心とした観光拠点整備 ○「大野の太鼓判」特産品認定事業（個店の魅力化促進） ○フラワー都市交流連絡協議会等の交流自治体との連携強化 ○大野神戸IC周辺まちづくり事業の推進 ○公園の適正な維持管理 ○大野町文化財保存活用地域計画の策定 ○旧北岡田家住宅の保存・活用 ○史跡野古墳群の保存・活用 ○文化財をめぐる観光ガイドツアー ○郷土博物館の整備（大野あけぼのミュージアムの整備・活用）
(2) 観光ネットワークの構築 観光ニーズの多様化を踏まえ、イベント、歴史、自然、伝統文化を活かした西美濃圏域を中心とした広域的観光ルートの開拓を	○広域的観光ルート（西美濃夢源回廊等）の開拓 ○町内観光施設の回遊性向上・観光ルート・散策モデルコースづくり

施策詳細	事業
進めます。 町内の主要な観光施設においても、相互の連携や回遊性の向上、町外施設等との連携による魅力向上などを図ります。 森林散策路を中心に史跡野古墳群や旧北岡田家住宅などの文化遺産を活用した回遊性の高い町内観光ルートの開拓を進めます。 道の駅「パレットピアおおの」をはじめ、SNS等のデジタルツールを活用し、観光情報発信の充実を図ります。 名鉄廃線敷をサイクリングロードや散歩道など新たな観光資源として活用します。	○観光情報発信の充実 ○名鉄廃線敷の活用 ○国内・海外観光プロモーション

《施策 16》地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大

本町は、バラ苗や富有柿等の特産品、旧北岡田家住宅や史跡野古墳群等の地域資源はあるものの、特産品を利用した通年販売できる商品が少ないことや、一年を通じた観光施設の不足等の課題がありました。

しかしながら、平成 30 年（2018 年）に、道の駅「パレットピアおおの」が開駅したことで、観光交流の拠点が整備され町内外から多くのお客様に来場いただき、観光入込客数は平成 26 年（2014 年）の 29.8 万人から平成 30 年（2018 年）は 56.2 万人と大幅に増加しています。また、特産品についても、「大野の太鼓判」特産品認定事業をはじめとした「おおの特産市場プロジェクト」の取り組みにより、令和元年度（2019 年度）末現在で 19 点が特産品として認定され、大野町らしさを感じていただくうえで大きな効果を果たしています。

今後は、道の駅「パレットピアおおの」を拠点として、観光面では町内の文化財をはじめとする観光資源を周遊する観光ルートを設定しつつ、令和元年（2019 年）12 月に開通した大野神戸 I C を活かし、西美濃圏域の玄関口として近隣市町と連携した広域的観光ネットワークを構築することで、交流人口・関係人口を増やして人やモノを呼び込み、地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大を図っていきます。商工業の面では、道の駅「パレットピアおおの」の地域振興施設において、新たな特産品・農産品の開発や販売ルートの確立等を進め、大野の太鼓判やおおのブランド野菜の充実を図ります。また、大野神戸 I C 周辺やテクノパーク大野への企業誘致を推進・整備し、雇用の創出や産業の振興を図っていきます。

また、福祉・防災・公共交通など本町が抱える課題を踏まえ今後の対策を見据えながら、生涯学習・子育て支援の場としての利用や広域防災拠点としての整備等必要な機能を備えるとともに、道の駅「パレットピアおおの」から名古屋駅までを結ぶ高速バス「にしみのライナー」を利活用し、公共交通利用者の増加や利便性向上に繋がる施策を展開し、定住環境としての魅力向上、移住定住の促進に繋げていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	数値目標（R6）
①観光入込客数（大野町全体） 再掲	67.3 万人	75.0 万人
②特産品の試作品数 再掲	27 品	31 品
③おおのブランド野菜の認定数 再掲	0 品種	5 品種
④名鉄廃線敷再生プロジェクトによる整備 利用施設の満足度 再掲	—	60.0%

施策詳細	事業
(1)だれもが集える「道の駅」プロジェクト 道の駅「パレットピアおおの」は地域産業の創出の場としてはもちろん、福祉・子育て・防災・公共交通など本町が抱える課題を踏まえ今後の対策を見据えながら、必要	○「子育てはうす ぱすてる」の充実 ○道の駅「パレットピアおおの」における農産物直販施設の支援 ○大野神戸 I C 周辺整備検討・推進

施策詳細	事業
な機能を備えるとともに、観光客や地域住民の交流の場を創出し、活力に満ちた魅力あるまちづくりを目指します。	○観光情報発信の充実 ○道の駅「パレットピアおおの」を中心とした観光拠点整備 ○大野神戸IC周辺まちづくり事業の推進 ○総合病院等の整備促進 ○主要駅への直行便の検討、高速バスの利活用
(2) おおの特産市場プロジェクト 特産品・農産物等のPRや道の駅地域振興施設の充実を図るため、新たな特産品の開発や特産品販売ルートの確立等を目指します。	○耕作放棄地の解消及び農地の集積・集約化 ○担い手・認定農業者の確保・育成 ○6次産業化に向けた支援 ○農業基盤整備の推進 ○GAPやHACCP等の認証取得に向けた支援 ○「大野の太鼓判」特産品認定事業（個店の魅力化促進） ○フラワー都市交流連絡協議会等の交流自治体との連携強化 ○食育の充実と給食指導の推進
(3) 名鉄廃線敷再生プロジェクト 名鉄廃線敷に自転車道・歩道や災害時の避難路の整備を行い、課題となっている安全な通学路の確保や観光への活用など、既存ストックの有効活用を図ります。	○名鉄廃線敷を活用した災害時の避難路の整備 ○名鉄廃線敷を活用した自転車道・歩道の整備 ○名鉄廃線敷の活用（サイクリングロード） ○名鉄廃線敷を活かしたまちづくりの推進

巻末資料

①基本目標の具体的評価

政策指標	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる(出生数を増やす)								
年間出生数	人	目標値	—	170	131	144	157	170
		実績値	189	118	107	78	79	—
		評価	—	未達成	未達成	未達成	未達成	—
合計特殊出生率	—	目標値	—	1. 53	1. 53	1. 53	1. 53	1. 53
		実績値	1. 40	—	—	—	1. 34	—
		評価	—	—	—	—	—	—
基本目標 2 いつまでの健康の希望をかなえる								
健康に暮らす人の割合	%	目標値	—	88. 0	88. 0	88. 0	88. 0	88. 0
		実績値	85. 1	86. 0	85. 0	84. 6	84. 7	—
		評価	—	概ね達成	概ね達成	概ね達成	概ね達成	—
基本目標 3 住み続けたい・住んでみたいという希望をかなえる								
若年層(15～34 歳)転出入者数	人	目標値	—	転出超過 0 人	転出超過 67 人	転出超過 45 人	転出超過 23 人	転出超過 0 人
		実績値	77 人の転出超過	89 人の転出超過	176 人の転出超過	89 人の転出超過	94 人の転出超過	—
		評価	—	未達成	未達成	未達成	未達成	—
基本目標 4 働きたいという希望をかなえる								
町内事業所における従業者数	人	目標値	—	7, 200	7, 200	7, 200	7, 200	7, 200
		実績値	6, 678	—	6, 832	6832	6832	—
		評価	—	指標なし	概ね達成	概ね達成	概ね達成	—
基本目標 5 訪れてみたい・もてなしたいという希望をかなえる								
観光入込客数	万人	目標値	—	70. 0	50. 0	58. 3	66. 7	75. 0
		実績値	30. 0	41. 6	47. 6	54. 1	61. 9	—
		評価	—	未達成	概ね達成	概ね達成	概ね達成	—

②施策の具体的評価

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 1. 子育て支援の充実								
大野町は子どもを産み育てやすいまちと思う町民の割合	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	60.6	—	—	—	—	
		評価	—	E	E	E	E	
「子育てはうす ぱすてる」入館数	人/日	目標値	—	160	64	70	75	120
		実績値	151	32	62	55	116	
		評価	—	D	B	C	S	
認定こども園待機児童数	人	目標値	—	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0	
		評価	—	B	B	B	B	
放課後児童クラブ待機児童数	人	目標値	—	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0	
		評価	—	B	B	B	B	
不妊治療助成事業の利用件数	件	目標値	—	196	222	248	274	300
		実績値	170	197	214	218	—	—
		評価	—	B	B	C	E	—

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第２期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 2. 教育力の強化・教育レベルの向上								
学力・学習状況調査 授業の理解度 小学校国語	%	目標値	—	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		実績値	76.4	—	81.0	85.8	82.7	
		評価	—	E	B	B	B	
学力・学習状況調査 授業の理解度 小学校算数	%	目標値	—	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		実績値	76.5	—	85.3	84.1	81.1	
		評価	—	E	B	B	B	
学力・学習状況調査 授業の理解度 中学校国語	%	目標値	—	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	72.5	—	67.2	74.0	81.5	
		評価	—	E	C	B	B	
学力・学習状況調査 授業の理解度 中学校数学	%	目標値	—	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	71.6	—	68.9	75.5	72.7	
		評価	—	E	C	B	B	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 3. 地域で子どもを守り・育む環境づくり								
健康づくり等講座開催数	回	目標値	—	54	38	46	54	60
		実績値	52	30	32	48	46	
		評価	—	D	C	B	C	
健康づくり等講座参加者数	人	目標値	—	910	556	704	852	1,000
		実績値	888	408	310	497	503	
		評価	—	D	D	C	D	
成人の特定健診受診率（40 歳～74 歳）	%	目標値	—	41.0	41.1	47.5	53.9	60.0
		実績値	36.0	34.7	34.1	32.4	34.4	
		評価	—	C	C	D	D	
高齢者の健診受診率（ぎふ・すこやか健診）（75 歳～）	%	目標値	—	—	—	37.5	38.75	40.0
		実績値	—	—	36.2	32.5	36.1	
		評価	—	—	—	C	B	
ゲートキーパー養成講座受講者数（延べ人数）	人	目標値	—	139	157	188	219	250
		実績値	111	126	158	208	305	
		評価	—	B	B	A	S	
認知症サポーター養成講座受講者数（延べ人数）	人	目標値	—	1,189	1,311	1,641	1,971	2,300
		実績値	911	981	1,098	1,230	1,420	
		評価	—	C	C	C	C	
スポーツ・レクリエーションイベント参加者数	人/年	目標値	—	2,220	1,227	1,585	1,943	2,300
		実績値	2,200	869	799	2,029	2,247	
		評価	—	D	D	A	A	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 4. 地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大								
観光入込客数（大野町全体）	万人	目標値	—	70.0	50.0	58.3	66.7	75.0
		実績値	67.3	41.6	47.6	54.1	61.9	
		評価	—	D	B	B	B	
特産品の試作品数（累計）	品	目標値	—	27	29	31	31	31
		実績値	27	29	30	31	33	
		評価	—	B	B	B	B	
おおのブランド野菜の認定数（累計）	品種	目標値	—	5	5	5	5	5
		実績値	0	5	5	5	5	
		評価	—	B	B	B	B	
名鉄廃線敷再生プロジェクトによる整備施設の満足度	%	目標値	—	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
		実績値	—	53.5	—	56.3	63.3	
		評価	—	B	E	B	B	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 5. タウンプロモーションの展開								
観光入込客数（大野町全体）	万人	目標値	—	70.0	50.0	58.3	66.7	75.0
		実績値	67.3	41.6	47.6	54.1	61.9	
		評価	—	D	B	B	B	
西美濃圏域における観光客数	万人	目標値	—	1,418	1,433	1,448	1,463	1,480
		実績値	1,403	858	800	1,007	1,404	
		評価	—	D	D	D	B	
町ホームページのアクセス件数	件	目標値	—	59,672	63,004	80,000	80,000	80,000
		実績値	56,340	76,935	93,995	79,679	68,587	
		評価	—	S	S	B	B	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 6. 定住環境としての魅力向上								
空家の活用	件	目標値	—	5	11	17	23	28
		実績値	0	2	3	6	7	
		評価	—	D	D	D	D	
防災啓発（教育）活動における受講者数	人	目標値	—	109	144	70	90	100
		実績値	74	108	50	63	180	
		評価	—	B	D	B	S	
防災リーダー（防災士）の人数	人	目標値	—	36	40	42	44	46
		実績値	34	38	41	48	51	
		評価	—	B	B	A	A	
汚水処理人口普及率	%	目標値	—	81.7	83.4	85.1	86.8	90.0 (R7)
		実績値	75.9	80.1	84.5	87.3	90.1	
		評価	—	B	B	B	B	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 7. 郷土愛の醸成・特色あるふるさとづくり								
町の歴史や文化に興味がある町民の割合	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	41.7	—	—	—	—	
		評価	—	E	E	E	E	
歴史や伝統文化に係る活動への参加者数	%	目標値	—	570	570	570	570	570
		実績値	566	587	547	663	826	
		評価	—	B	B	A	S	
郷土博物館の年間来場者数	%	目標値	—	—	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	—	—	2,300	1,361	1,159	
		評価	—	—	S	S	A	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 8. 地域活動の活性化								
日頃から隣近所の人 たちと付き合いや交 流がある町民の割合	%	目標値	—	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	70.7	—	—	—	—	
		評価	—	E	E	E	E	
青少年による諸活動 への参加者数	人	目標値	—	365	152	228	304	380
		実績値	361	76	48	156	122	
		評価	—	D	D	D	D	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 9. 公共交通の充実								
デマンドタクシー利用者数	人	目標値	—	10,898	10,653	12,101	13,549	15,000
		実績値	9,873	9,205	9,180	8,517	8,710	
		評価	—	C	C	C	D	
デマンドタクシー自宅前登録者のうち1年以内に利用したことがある人の割合	人	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	30.1	—	21.0	22.0	21.0	
		評価	—	E	D	D	D	
町内バス停の年間利用者数	%	目標値	—	51,461	43,743	49,161	54,579	60,000
		実績値	49,461	38,325	40,172	42,954	50,235	
		評価	—	C	B	C	B	
通勤通学や買い物等の日常生活の移動に不便を感じている町民の割合	%	目標値	—	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	48.9	—	—	—	—	
		評価	—	E	E	E	E	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 10. 地域福祉の充実								
地域交流サロンでの 交流者数	人	目標値	—	3,615	2,380	3,020	3,660	4,300
		実績値	3,444	1,740	2,551	3,317	4,109	
		評価	—	D	B	B	A	
日頃から隣近所の人 たちと付き合いや交 流がある町民の割合	%	目標値	—	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	70.7	—	—	—	—	
		評価	—	E	E	E	E	
避難行動要支援者名簿 登録者における個別避 難計画の作成者数	人	目標値	—	—	—	—	300	500
		実績値	—	—	—	117	134	
		評価	—	—	—	—	D	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 11. 移住・UJI ターンの促進								
定住奨励金申請件数 (累積件数)	%	目標値	—	460	525	583	641	700
		実績値	400	467	518	564	620	
		評価	—	B	B	B	B	
空家の活用	件	目標値	—	5	11	17	23	28
		実績値	0	2	3	6	7	
		評価	—	D	D	D	D	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 12. 地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大								
観光入込客数（大野町全体）	万人	目標値	—	70.0	50.0	58.3	66.7	75.0
		実績値	67.3	41.6	47.6	54.1	61.9	
		評価	—	D	B	B	B	
特産品の試作品数 （累計）	品	目標値	—	27	29	31	31	31
		実績値	27	29	30	31	33	
		評価	—	B	B	B	B	
おおのブランド野菜 の認定数（累計）	品種	目標値	—	5	5	5	5	5
		実績値	0	5	5	5	5	
		評価	—	B	B	B	B	
名鉄廃線敷再生プロジェクトによる整備 施設の満足度	%	目標値	—	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
		実績値	—	53.5	—	56.3	63.3	
		評価	—	B	E	B	B	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 13. 新産業の創出・商工業の振興								
大野町企業立地促進条 例に基づく奨励金措置 を受けた事業所数	事業所	目標値	—	8	10	11	12	14
		実績値	8	10	10	11	13	
		評価	—	A	B	B	B	
企業誘致件数（累計）	事業所	目標値	—	—	—	2	3	3
		実績値	—	—	1	2	2	
		評価	—	—	—	B	D	
小売業の年間商品販 売額	百万円	目標値	—	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
		実績値	16,336	—	17,482	17,482	17,482	
		評価	—	E	B	B	B	
創業希望者の支援件 数（西美濃圏域）	件	目標値	—	57	31	39	47	57
		実績値	18	23	19	27	56	
		評価	—	D	D	D	A	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 14. 農業の活性化・担い手育成								
担い手への農地集積	%	目標値	—	49.0	50.5	58.5	59.5	60.0
		実績値	47.5	49.4	58.0	61.0	62.9	
		評価	—	B	B	B	B	
認定農業者数（累計）	経営体	目標値	—	45	46	49	49	49
		実績値	44	46	48	53	55	
		評価	—	B	B	B	A	
おおのブランド野菜 の認定数（累計）	品種	目標値	—	5	5	5	5	5
		実績値	0	5	5	5	5	
		評価	—	B	B	B	B	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 15. タウンプロモーションの展開								
観光入込客数（大野町全体）	万人	目標値	—	70.0	50.0	58.3	66.7	75.0
		実績値	67.3	41.6	47.6	54.1	61.9	
		評価	—	D	B	B	B	
西美濃圏域における観光客数	万人	目標値	—	1,418	1,433	1,448	1,463	1,480
		実績値	1,403	858	800	1,007	1,404	
		評価	—	D	D	D	B	
町ホームページのアクセス件数（月当たり）	件	目標値	—	59,672	63,004	80,000	80,000	80,000
		実績値	56,340	76,935	93,995	79,679	68,587	
		評価	—	S	S	B	C	

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 2 期総合戦略計画期間				
				R2	R3	R4	R5	R6
施策 16. 地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大								
観光入込客数（大野町全体）	万人	目標値	—	70.0	50.0	58.3	66.7	75.0
		実績値	67.3	41.6	47.6	54.1	61.9	
		評価	—	D	B	B	B	
特産品の試作品数 （累計）	品	目標値	—	27	29	31	31	31
		実績値	27	29	30	31	33	
		評価	—	B	B	B	B	
おおのブランド野菜 の認定数（累計）	品種	目標値	—	5	5	5	5	5
		実績値	0	5	5	5	5	
		評価	—	B	B	B	B	
名鉄廃線敷再生プロジェクトによる整備 施設の満足度	%	目標値	—	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
		実績値	—	53.5	—	56.3	63.3	
		評価	—	B	E	B	B	

参考資料（第1期総合戦略）

①基本目標の具体的評価

政策指標	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる								
年間出生数	人	目標値	—	194	194	194	194	194
		実績値	189	167	135	126	123	140
		評価	—	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
合計特殊出生率	—	目標値	—	1.53	1.53	1.53	1.53	1.53
		実績値	1.40	—	—	—	—	未公表
		評価	—	—	—	—	—	—
基本目標 2 いつまでの健康の希望をかなえる								
健康に暮らす人の割合	%	目標値	—	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0
		実績値	85.1	85.3	86.0	86.1	85.9	86.0
		評価	—	未達成	達成	達成	未達成	達成
基本目標 3 住み続けたい・住んでみたいという希望をかなえる								
若年層(20～34 歳)転出入者数	人	目標値	—	転出超過 0 人	転出超過 0 人	転出超過 0 人	転出超過 0 人	転出超過 0 人
		実績値	32 人の 転出超過	83 人の 転出超過	128 人の 転出超過	101 人の 転出超過	87 人の 転出超過	112 人の 転出超過
		評価	—	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
基本目標 4 働きたいという希望をかなえる								
町内事業所における従業者数	人	目標値	—	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
		実績値	6,678	—	7,272	—	—	7,272※
		評価	—	—	達成	—	—	達成
基本目標 5 訪れてみたい・もてなしたいという希望をかなえる								
観光入込客数	万人	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	30	29.7	30.4	26.8	56.2	67.3
		評価	—	未達成	未達成	未達成	未達成	概ね達成

※直近の統計調査の実施年度である平成28年度の実績値をもとに評価

②施策の具体的評価

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 1 子育て支援の充実								
認定こども園への移行支援	—	目標値	—	5	5	5	5	5
		実績値	0	5	5	5	5	5
		評価	—	—	B	B	B	B
大野町は子どもを産み育てやすいまちと思う町民の割合	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	66.2	—	—	—	—	60.6
		評価	—	—	E	E	E	C
デマンドタクシー利用者数	人	目標値	—	1,388	1,388	6,500	10,000	10,000
		実績値	1,120	4,950	6,052	8,498	9,092	9,873
		評価	—	—	S	S	B	B
通勤通学や買い物等の日常生活の移動に不便を感じている町民の割合	%	目標値	—	45.4	45.4	20.0	20.0	20.0
		実績値	46.9	—	26.1	—	—	48.9
		評価	—	—	S	E	E	D
待機児童ゼロ継続	—	目標値	—	継続	継続	継続	継続	継続
		実績値	0	継続	継続	継続	継続	継続
		評価	—	—	B	B	B	B
放課後児童クラブ待機児童数	人	目標値	—	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0	0
		評価	—	—	B	B	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 2 地域で子どもを守り・育む環境づくり								
大野町は子どもを産み育てやすいまちと思う町民の割合	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	66.2	—	—	—	—	60.6
		評価	—	—	E	E	E	C
子育て支援センター数	箇所	目標値	—	3	3	4	4	4
		実績値	2	3	3	3	4	4
		評価	—	—	B	C	B	B
習慣的に運動する人の割合 30 代男性	%	目標値	—	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
		実績値	29.4	—	—	—	—	40.0
		評価	—	—	E	E	E	A
習慣的に運動する人の割合 30 代女性	%	目標値	—	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
		実績値	12.5	—	—	—	—	30.0
		評価	—	—	E	E	E	S
習慣的に運動する人の割合 40 代男性	%	目標値	—	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	14.8	—	—	—	—	26.3
		評価	—	—	E	E	E	S
習慣的に運動する人の割合 40 代女性	%	目標値	—	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
		実績値	12.5	—	—	—	—	15.4
		評価	—	—	E	E	E	C
ノルディックウォーキング教室参加者数	人	目標値	—	100	100	180	180	180
		実績値	—	91	151	163	170	217
		評価	—	—	S	B	B	A

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
おおの木育フェア参加者の満足度割合	%	目標値	—	50.0	50.0	93.0	93.0	93.0
		実績値	—	91.5	91.0	90.0	94.0	92.0
		評価	—	—	S	B	B	B
木育への関心度割合	%	目標値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
		実績値	—	—	—	—	—	87.0
		評価	—	—	E	E	E	S
木育ひろばの設置	箇所	目標値	—	5	5	5	5	5
		実績値	0	2	3	3	4	4
		評価	—	—	C	C	C	C

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 3 結婚・出産の支援								
コンサポ・ぎふ従業員結婚支援団体登録件数	件	目標値	—	5	5	5	5	5
		実績値	1	2	3	4	4	4
		評価	—	—	D	C	C	C
不妊治療による妊娠成立の割合	%	目標値	—	45.0	45.0	38.8	38.8	38.8
		実績値	38.8	27.7	34.8	31.8	35.0	41.0
		評価	—	—	C	B	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 4 教育力の強化・教育レベルの向上								
学力・学習状況調査 授業の理解度 小学校国語	%	目標値	—	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		実績値	77.7	82.2	80.0	79.3	—	76.4
		評価	—	—	B	B	E	C
学力・学習状況調査 授業の理解度 小学校算数	%	目標値	—	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		実績値	78.7	79.8	76.0	77.1	80.9	76.5
		評価	—	—	C	B	B	B
学力・学習状況調査 授業の理解度 中学校国語	%	目標値	—	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	75.1	73.9	75.1	69.9	—	72.5
		評価	—	—	B	C	E	B
学力・学習状況調査 授業の理解度 中学校数学	%	目標値	—	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
		実績値	68.0	76.5	62.6	58.3	66.6	71.6
		評価	—	—	C	C	C	B
不登校傾向が見られ る児童・生徒数	人	目標値	—	15	15	15	15	15
		実績値	29	25	25	26	41	42
		評価	—	—	D	D	D	D
学力・学習状況調査 夢・目標 小学校	%	目標値	—	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
		実績値	84.3	89.6	84.0	88.6	83.0	83.9
		評価	—	—	B	B	B	B
学力・学習状況調査 夢・目標 中学校	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	62.9	74.5	73.6	61.4	70.8	72.9
		評価	—	—	B	C	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
特別支援教育アシスタントの人数	人	目標値	—	27	27	27	27	27
		実績値	22	23	26	27	32	27
		評価	—	—	B	B	A	B
学力・学習状況調査 学校アンケート問 44 小学校	%	目標値	—	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6
		実績値	50.0	33.3	83.4	61.0	75.0	68.4
		評価	—	—	A	B	A	B
学力・学習状況調査 学校アンケート問 44 中学校	%	目標値	—	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6
		実績値	33.3	33.3	33.3	59.0	73.0	61.6
		評価	—	—	D	C	B	B
各校で活動する地域 ボランティアの種数 の合計	種	目標値	—	26	26	26	26	26
		実績値	18	18	19	19	19	32
		評価	—	—	C	C	C	A

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 5 健康寿命の延伸と体力増進								
健康づくり等講座開催数	回	目標値	—	52	52	52	52	52
		実績値	48	50	53	42	54	52
		評価	—	—	B	C	B	B
健康づくり等講座参加者数	人	目標値	—	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050
		実績値	943	1,011	897	799	809	888
		評価	—	—	C	C	C	C
20 歳代男性の朝食欠食率	%	目標値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
		実績値	52.1	—	—	—	—	35.4
		評価	—	—	E	E	E	C
BMI25 以上男性	%	目標値	—	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	22.1	—	—	—	—	30.1
		評価	—	—	E	E	E	D
BMI25 以上女性	%	目標値	—	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
		実績値	9.0	—	—	—	—	17.2
		評価	—	—	E	E	E	D
ストレス解消できている人の割合	%	目標値	—	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
		実績値	74.7	—	—	—	—	73.9
		評価	—	—	E	E	E	B
朝起きたときに、身体がすっきりしている人の割合	%	目標値	—	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
		実績値	57.1	—	—	—	—	59.1
		評価	—	—	E	E	E	B
健康づくりに取り組んでいる町民の割合	%	目標値	—	61.0	61.0	65.0	65.0	65.0
		実績値	—	—	—	—	—	58.5
		評価	—	—	E	E	E	B
定期的にスポーツしている町民の割合	%	目標値	—	32.9	32.9	35.0	35.0	35.0
		実績値	—	—	—	—	—	31.7
		評価	—	—	E	E	E	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
成人の特定健診受診率	%	目標値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	—	—	37.4	35.7	36.1	35.6
		評価	—	—	D	D	D	D
ノルディックウォーキング活動団体の設立	団体	目標値	—	0	0	1	1	1
		実績値	0	0	0	0	0	1
		評価	—	—	D	D	D	B
ノルディックウォーキング教室参加者数	人	目標値	—	100	100	180	180	180
		実績値	—	91	151	163	170	217
		評価	—	—	S	B	B	A
ノルディックウォーキング・イベント等で町に来訪した人の満足度	%	目標値	—	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
ノルディックウォーキング指導者の育成	人	目標値	—	3	3	12	12	12
		実績値	—	—	3	7	9	9
		評価	—	—	B	D	C	C
胃がん死亡率（SMR＝1）男性	—	目標値	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績値	1.12	1.06	0.92	1.06	1.15	1.15
		評価	—	—	B	B	C	C
胃がん死亡率（SMR＝1）女性	—	目標値	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績値	1.42	1.50	1.43	1.56	1.59	1.32
		評価	—	—	D	D	D	D
介護予防教室の開催参加者数	人	目標値	—	270	270	300	300	300
		実績値	249	251	310	276	291	297
		評価	—	—	A	B	B	B
生きがいを感じる割合	%	目標値	—	82.0	82.0	82.0	82.0	82.0
		実績値	77.0	83.0	46.5	59.3	50.0	66.3
		評価	—	—	D	C	D	C
総合相談支援・権利擁護業務等相談件数	件	目標値	—	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350
		実績値	1,142	1,115	728	1,021	1,353	2,324
		評価	—	—	D	C	B	S
NPO等による生活支援サービス等提供事業所の設置	団体	目標値	—	1	1	1	1	1
		実績値	—	0	0	0	0	0
		評価	—	—	D	D	D	D

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 6 地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大								
新たな観光ルートを使 ったイベント参加 人数	人	目標値	—	300	300	300	300	300
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
観光入込客数（大野 町全体）	万人	目標値	—	30.7	30.7	30.7	51.4	70.0
		実績値	30	29.7	30.4	26.8	56.2	67.3
		評価	—	—	B	C	B	B
交通分担率（通勤通学 等の移動に公共交通機 関を利用する割合）	%	目標値	—	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	7.8	—	9.0	—	—	8.5
		評価	—	—	D	E	E	D
名古屋駅までの直行 便（高速バス）路線 の運行	路線	目標値	—	1	1	1	1	1
		実績値	—	0	0	0	0	0
		評価	—	—	D	D	D	D
防災拠点整備による 安全安心度の向上	%	目標値	—	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	30.1	—	—	—	—	51.2
		評価	—	—	E	E	E	A
生涯学習・子育て支援 の場としての利用者増 及び満足度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	19.9	—	—	—	—	48.3
		評価	—	—	E	E	E	B
担い手への農地集積	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	29.5	36.9	39.4	40.4	47.1	47.5
		評価	—	—	C	C	B	B
認定農業者数（経営 体）	経営体	目標値	—	43	43	43	43	43
		実績値	27	35	38	41	43	44
		評価	—	—	C	B	B	B
農作物栽培等講習会 開催	回/年	目標値	—	6	6	6	6	6
		実績値	—	—	12	11	9	5
		評価	—	—	S	S	S	C
道の駅における地元 雇用者の割合	%	目標値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	—	—	—	—	48.6	42.3
		評価	—	—	E	E	C	C
特産品の試作品数	—	目標値	—	5	5	20	20	30
		実績値	—	—	—	25	27	27
		評価	—	—	E	A	S	B
道の駅で販売する町 内産農産物の割合	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
道の駅売上金額	億円	目標値	—	3	3	3	3	4
		実績値	—	—	—	—	3.9	4.2
		評価	—	—	E	E	S	B
自転車道・歩道とし ての整備による安全 度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
通学路（通楽路）としての活用による安全度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
観光入込客数の増・イベント参加者や観光客の満足度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
黒野駅レールパーク利用者数の増	人/日	目標値	—	100	100	100	100	100
		実績値	36	91	65	61	76	76
		評価	—	—	C	C	C	C
ノルディックウォーキング人口の増	人	目標値	—	300	300	300	300	300
		実績値	—	161	191	232	344	403
		評価	—	—	D	C	A	S
ノルディックウォーキング・イベント等で町に訪れた人の満足度	%	目標値	—	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
廃線敷を緊急時の避難路として活用することによる緊急時安心度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
習慣的に運動する人の割合 20歳以上男性	%	目標値	—	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	34.2	—	—	—	—	48.8
		評価	—	—	E	E	E	A
習慣的に運動する人の割合 20歳以上女性	%	目標値	—	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
		実績値	31.4	—	—	—	—	40.8
		評価	—	—	E	E	E	A

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 7 タウンプロモーションの展開								
西濃圏域における観光客数	万人	目標値	—	1,522	1,512	1,512	1,512	1,512
		実績値	1,477	1,432	1,479	1,391	1,469	1,403
		評価	—	—	B	B	B	B
道の駅における地元雇用者の割合	%	目標値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	—	—	—	—	48.6	42.3
		評価	—	—	E	E	C	C
旧北岡田家住宅を活用した複合施設における常勤雇用者のうち地元雇用者の割合	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
地域住民主体で企画したイベント数	—	目標値	—	5	5	20	20	20
		実績値	—	—	2	5	7	26
		評価	—	—	D	D	D	S
旧北岡田家住宅の入場者数	人	目標値	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	—	400	1,856	567	885	1,087
		評価	—	—	S	D	C	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
観光入込客数（大野町全体）	万人	目標値	—	30.7	30.7	30.7	51.4	70.0
		実績値	30	29.7	30.4	26.8	56.2	67.3
		評価	—	—	B	C	B	B
西濃圏域における観光客数	万人	目標値	—	1,522	1,512	1,512	1,512	1,512
		実績値	1,477	1,432	1,479	1,391	1,469	1,403
		評価	—	—	B	B	B	B
西濃圏域における転入者数	人	目標値	—	14,238	14,238	14,238	14,238	14,238
		実績値	12,615	13,038	12,431	12,542	13,170	13,681
		評価	—	—	C	C	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 8 定住環境としての魅力向上								
空家、空き店舗の活用	%	目標値	—	調査による 空家件 数の 10%	調査による 空家件 数の 10%	調査による 空家件 数の 10%	調査による 空家件 数の 10%	調査による 空家件 数の 10%
		実績値	—	0	0	0	0	0
		評価	—	—	D	D	D	D
木造住宅耐震診断件数	件	目標値	—	182	182	182	168	168
		実績値	132	135	146	148	155	164
		評価	—	—	C	C	B	B
防災拠点整備による 安全安心度の向上	%	目標値	—	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	30.1	—	—	—	—	51.2
		評価	—	—	E	E	E	A
廃線敷を緊急時の避難路 として活用することによ る緊急時安心度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
LED灯設置による 安心度の向上	%	目標値	—	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	30.1	—	—	—	—	44.2
		評価	—	—	E	E	E	A
耐震性貯水槽設置数	—	目標値	—	30	30	30	30	30
		実績値	25	27	28	28	28	28
		評価	—	—	B	B	B	B
防災士資格取得数	—	目標値	—	35	35	35	35	35
		実績値	20	22	25	29	33	34
		評価	—	—	C	C	B	B
快適に移動出来る環 境に対する満足度	%	目標値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
		実績値	—	—	—	—	—	64.6
		評価	—	—	E	E	E	S
環境保全活動啓発冊 子によるエコ実践協 力世帯の CO2 年間排 出量(1 世帯あたり)	%減	目標値	—	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
		実績値	—	—	(8.31 t)	3.8%増 (8.63 t)	1.7%減 (8.48t)	1.7%減※ (8.48t)
		評価	—	—	E	D	D	D

※事業は平成30年度（3年間）で終了したため、平成30年度実績値をもとに評価

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
住宅用太陽光発電システム設置補助申請件数	件	目標値	—	900	900	590	550	550
		実績値	383	430	460	485	503	542
		評価	—	—	D	C	B	B
汚水処理人口普及率	%	目標値	—	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	56.2	60.0	64.3	68.1	72.2	75.9
		評価	—	—	C	C	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 9 郷土愛の醸成・特色あるふるさとづくり								
文化財の保護・普及・学習を主な活動とする団体	団体	目標値	—	10	10	10	10	10
		実績値	8	9	11	10	9	10
		評価	—	—	A	B	B	B
歴史や伝統文化に係る活動への参加者数	人	目標値	—	500	500	500	500	500
		実績値	450	450	494	552	561	566
		評価	—	—	B	A	A	A
旧北岡田家住宅を活用した複合施設における常勤雇用者のうち地元雇用者の割合	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
関係組織・協力団体の会員数 (町民カレッジ・歴史まちづくり協議会の参加人数を含む)	人	目標値	—	100	100	100	100	100
		実績値	—	—	—	57	93	7
		評価	—	—	E	D	B	D

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 10 地域活動の活性化								
福祉ボランティア活動団体数（社協連携）		目標値	—	18	18	18	15	15
		実績値	13	13	15	13	13	13
		評価	—	—	C	C	C	C
日頃から隣近所の人たちと付き合いや交流がある町民の割合	%	目標値	—	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0
		実績値	78.0	—	—	—	—	70.7
		評価	—	—	E	E	E	B
青年活動団体の参加者数	人	目標値	—	60	60	60	60	60
		実績値	47	47	55	49	51	86
		評価	—	—	B	C	C	S

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 11 公共交通の充実								
交通分担率（通勤通学等の移動に公共交通機関を利用する割合）	%	目標値	—	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	7.8	—	9.0	—	—	8.5
		評価	—	—	D	E	E	D
交通分担率（通勤通学等の移動に公共交通機関を利用する割合）	%	目標値	—	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	7.8	—	9.0	—	—	8.5
		評価	—	—	D	E	E	D
名古屋駅までの直行便（高速バス）路線の運行	路線	目標値	—	1	1	1	1	1
		実績値	—	0	0	0	0	0
		評価	—	—	D	D	D	D
通勤通学や買い物等の日常生活の移動に不便を感じている市民の割合	%	目標値	—	45.4	45.4	20.0	20.0	20.0
		実績値	46.9	—	26.1	—	—	48.9
		評価	—	—	S	E	E	D
交通分担率（通勤通学等の移動に公共交通機関を利用する割合）	%	目標値	—	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	7.8	—	9.0	—	—	8.5
		評価	—	—	D	E	E	D
デマンドタクシー利用者数	人	目標値	—	1,388	1,388	6,500	10,000	10,000
		実績値	1,120	4,950	6,052	8,498	9,092	9,873
		評価	—	—	S	S	B	B
通勤通学や買い物等の日常生活の移動に不便を感じている市民の割合	%	目標値	—	45.4	45.4	20.0	20.0	20.0
		実績値	46.9	—	26.1	—	—	48.9
		評価	—	—	S	E	E	D

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 12 地域福祉の充実								
地域交流サロンでの 交流者数	人	目標値	—	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
		実績値	—	—	—	—	—	3,444
		評価	—	—	E	E	E	C
成年後見制度利用支 援事業利用延べ人数	人	目標値	—	10	10	10	5	5
		実績値	—	0	0	0	0	0
		評価	—	—	D	D	D	D
地域生活支援事業利 用延べ件数	件	目標値	—	180	180	180	180	220
		実績値	175	121	150	196	224	299
		評価	—	—	C	A	A	S
町内の障がい者相談 支援事業所数	事業所	目標値	—	1	1	1	2	2
		実績値	1	1	1	2	2	2
		評価	—	—	B	S	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 13 移住・UJI ターンの促進								
定住奨励金申請件数 (累積件数)	件	目標値	—	100	100	350	350	450
		実績値	91	166	249	322	373	400
		評価	—	—	S	B	B	C
住宅用太陽光発電シ ステム設置補助申請 件数	件	目標値	—	900	900	590	550	550
		実績値	383	430	460	485	503	542
		評価	—	—	D	C	B	B
汚水処理人口普及率	%	目標値	—	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	56.2	60.0	64.3	68.1	72.2	75.9
		評価	—	—	C	C	B	B
放課後クラブ	年	目標値	—	1～6	1～6	1～6	1～6	1～6
		実績値	1～6	1～6	1～6	1～6	1～6	1～6
		評価	—	—	B	B	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 14 地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大								
道の駅の利用者増 (レジ通過数)	万人/ 年	目標値	—	40	40	40	40	40
		実績値	—	—	—	—	37	38.7
		評価	—	—	E	E	B	B
特産物の開発数	個	目標値	—	50	50	50	30	30
		実績値	—	5	7	13	23	23
		評価	—	—	D	D	C	C
新たな観光ルートを使 ったイベント参加 人数	人	目標値	—	300	300	300	300	300
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
観光入込客数（大野 町全体）	万人	目標値	—	30.7	30.7	30.7	51.4	70.0
		実績値	30	29.7	30.4	26.8	56.2	67.3
		評価	—	—	B	C	B	B
ぎふクリーン農業登 録者	団体	目標値	—	14	14	14	14	14
		実績値	9	10	11	11	12	12
		評価	—	—	C	C	C	C
道の駅売上金額	億円	目標値	—	4	4	4	3	4.5
		実績値	—	—	—	—	3.9	4.2
		評価	—	—	E	E	S	B
道の駅で販売する町 内産農産物の割合	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
特産品の試作品数	—	目標値	—	20	5	20	20	30
		実績値	—	—	—	25	27	27
		評価	—	—	E	A	S	B
道の駅出荷者登録数	人	目標値	—	150	150	200	200	200
		実績値	—	—	—	165	183	208
		評価	—	—	E	C	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
交通分担率（通勤通学等の移動に公共交通機関を利用する割合）	%	目標値	—	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	7.8	—	9.0	—	—	8.5
		評価	—	—	D	E	E	D

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
名古屋駅までの直行便（高速バス）路線の運行	路線	目標値	—	1	1	1	1	1
		実績値	—	0	0	0	0	0
		評価	—	—	D	D	D	D
防災拠点整備による安全安心度の向上	%	目標値	—	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	30.1	—	—	—	—	51.2
		評価	—	—	E	E	E	A
生涯学習・子育て支援の場としての利用者増及び満足度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	19.9	—	—	—	—	48.3
		評価	—	—	E	E	E	B
西濃圏域における観光客数	万人	目標値	—	1,522	1,522	1,512	1,512	1,512
		実績値	1,477	1,432	1,479	1,391	1,469	1,403
		評価	—	—	B	B	B	B
道の駅における地元雇用者の割合	%	目標値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	—	—	—	—	48.6	42.3
		評価	—	—	E	E	C	C
旧北岡田家住宅を活用した複合施設における常勤雇用者のうち地元雇用者の割合	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 15 地域ブランドの創造・魅力の向上								
担い手への農地集積	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	29.5	36.9	39.4	40.4	47.1	47.5
		評価	—	—	C	C	B	B
認定農業者数（経営体）	経営体	目標値	—	43	43	43	43	43
		実績値	27	35	38	41	43	44
		評価	—	—	C	B	B	B
農作物栽培等講習会開催	回/年	目標値	—	6	6	6	6	6
		実績値	—	—	12	11	9	5
		評価	—	—	S	S	S	C
特産物の開発数	個	目標値	—	50	50	50	30	30
		実績値	—	5	7	13	23	23
		評価	—	—	D	D	C	C
「大野の太鼓判」認定商品数	個	目標値	—	10	10	10	10	10
		実績値	4	8	10	14	17	19
		評価	—	—	B	S	S	S

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
道の駅における地元 雇用者の割合	%	目標値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	—	—	—	—	48.6	42.3
		評価	—	—	E	E	C	C
旧北岡田家住宅を活用した 複合施設における常勤雇用 者のうち地元雇用者の割合	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
道の駅出荷者登録数	人	目標値	—	150	150	200	200	200
		実績値	—	—	—	165	183	208
		評価	—	—	E	C	B	B
特産品の試作品数	—	目標値	—	20	5	20	20	30
		実績値	—	—	—	25	27	27
		評価	—	—	E	A	S	B
道の駅で販売する町 内産農産物の割合	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
道の駅売上金額	億円	目標値	—	4	4	4	3	4.5
		実績値	—	—	—	—	3.9	4.2
		評価	—	—	E	E	S	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 16 新産業の創出・育成								
テクノパーク大野の 誘致企業数	企業	目標値	—	2	2	2	2	2
		実績値	—	0	0	0	1	1
		評価	—	—	D	D	D	D
大野町企業立地促進条 例に基づく奨励金措置 を受けた事業者数	事業者	目標値	—	6	6	6	6	6
		実績値	3	4	5	7	7	8
		評価	—	—	C	A	A	S
東海エリアで開催される 合同企業説明会に地元企 業が参加した事業者数	事業者	目標値	—	6	6	6	6	6
		実績値	3	3	4	4	13	4
		評価	—	—	D	D	S	D
西濃圏域における転 入者数	人	目標値	—	14, 238	14, 238	14, 238	14, 238	14, 238
		実績値	12, 615	13, 038	12, 431	12, 542	13, 170	13, 681
		評価	—	—	C	C	B	B
創業希望者の支援件 数（西濃圏域）	件	目標値	—	57	57	57	57	57
		実績値	32	26	34	44	40	18
		評価	—	—	D	C	C	D

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 17 農業の活性化・担い手の育成								
担い手への農地集積	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	29.5	36.9	39.4	40.4	47.1	47.5
		評価	—	—	C	C	B	B
認定農業者数（経営体）	経営体	目標値	—	43	43	43	43	43
		実績値	27	35	38	41	43	44
		評価	—	—	A	B	B	B
農業体験イベントの開催数	回/年	目標値	—	6	6	6	6	6
		実績値	—	—	6	6	9	5
		評価	—	—	B	B	S	C

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
野菜づくり講習会参加人数（6 回の延べ数/年間）	人	目標値	—	120	120	180	180	180
		実績値	—	—	486	196	175	183
		評価	—	—	S	B	B	B
特産品の試作品数	—	目標値	—	20	5	20	20	30
		実績値	—	—	—	25	27	27
		評価	—	—	E	A	S	B
ぎふクリーン農業登録者	団体	目標値	—	14	14	14	14	14
		実績値	9	10	11	11	12	12
		評価	—	—	C	C	C	C
農作物栽培等講習会開催	回/年	目標値	—	6	6	6	6	6
		実績値	—	—	12	11	9	5
		評価	—	—	S	S	S	C
道の駅出荷者登録数	人	目標値	—	150	150	200	200	200
		実績値	—	—	—	165	183	208
		評価	—	—	E	C	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 18 商工業の振興								
小売業の年間商品販売額	百万円	目標値	—	15,950	15,950	15,950	15,950	15,950
		実績値	15,909	—	—	—	—	16,336※
		評価	—	—	E	E	E	B

※経済センサス活動調査（平成 28 年度調査結果）

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 19 働きやすい就労環境								
男女共同参画にかか る講演会への参加者	人	目標値	—	400	400	400	400	400
		実績値	250	80	120	130	140	165
		評価	—	—	D	D	D	D

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 20 タウンプロモーションの展開								
道の駅出荷者登録数	人	目標値	—	150	150	200	200	200
		実績値	—	—	—	165	183	208
		評価	—	—	E	C	B	B
西濃圏域における観光客数	万人	目標値	—	1,522	1,522	1,512	1,512	1,512
		実績値	1,477	1,432	1,479	1,391	1,469	1,403
		評価	—	—	B	B	B	B
町HP観光情報アクセス件数（月平均件数）	件	目標値	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	900	1,021	876	1,021	1,200	955
		評価	—	—	C	B	A	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
地域住民主体で企画したイベント数	—	目標値	—	5	5	20	20	20
		実績値	—	—	2	5	7	26
		評価	—	—	D	D	D	S
旧北岡田家住宅の入場者数	人	目標値	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	—	400	1,856	567	885	1,087
		評価	—	—	S	D	C	B
西濃圏域における観光客数	万人	目標値	—	1,522	1,512	1,512	1,512	1,512
		実績値	1,477	1,432	1,479	1,391	1,469	1,403
		評価	—	—	B	B	B	B
西濃圏域における転入者数	人	目標値	—	14,238	14,238	14,238	14,238	14,238
		実績値	12,615	13,038	12,431	12,542	13,170	13,681
		評価	—	—	C	C	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第 1 期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
施策 21 地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大								
道の駅の利用者増 (レジ通過数)	万人/ 年	目標値	—	40	40	40	40	40
		実績値	—	—	—	—	37	38.7
		評価	—	—	E	E	B	B
特産物の開発数	個	目標値	—	50	50	50	30	30
		実績値	—	5	7	13	23	23
		評価	—	—	D	D	C	C
新たな観光ルートを使 ったイベント参加 人数	人	目標値	—	300	300	300	300	300
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
観光入込客数（大野 町全体）	万人	目標値	—	30.7	30.7	30.7	51.4	70.0
		実績値	30	29.7	30.4	26.8	56.2	67.3
		評価	—	—	B	C	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
ぎふクリーン農業登録者	団体	目標値	—	14	14	14	14	14
		実績値	9	10	11	11	12	12
		評価	—	—	C	C	C	C
道の駅売上金額	億円	目標値	—	4	4	4	3	4.5
		実績値	—	—	—	—	3.9	4.2
		評価	—	—	E	E	S	B
道の駅で販売する町内産農産物の割合	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
特産品の試作品数	—	目標値	—	20	5	20	20	30
		実績値	—	—	—	25	27	27
		評価	—	—	E	A	S	B
道の駅出荷者登録数	人	目標値	—	150	150	200	200	200
		実績値	—	—	—	165	183	208
		評価	—	—	E	C	B	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
交通分担率（通勤通学等の移動に公共交通機関を利用する割合）	%	目標値	—	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	7.8	—	9.0	—	—	8.5
		評価	—	—	D	E	E	D
名古屋駅までの直行便（高速バス）路線の運行	路線	目標値	—	1	1	1	1	1
		実績値	—	0	0	0	0	0
		評価	—	—	D	D	D	D
防災拠点整備による安全安心度の向上	%	目標値	—	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	30.1	—	—	—	—	51.2
		評価	—	—	E	E	E	A
生涯学習・子育て支援の場としての利用者増及び満足度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	19.9	—	—	—	—	48.3
		評価	—	—	E	E	E	B
担い手への農地集積	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	29.5	36.9	39.4	40.4	47.1	47.5
		評価	—	—	C	C	B	B
認定農業者数（経営体）	経営体	目標値	—	43	43	43	43	43
		実績値	27	35	38	41	43	44
		評価	—	—	C	B	B	B
農作物栽培等講習会開催	回/年	目標値	—	6	6	6	6	6
		実績値	—	—	12	11	9	5
		評価	—	—	S	S	S	C
道の駅における地元雇用者の割合	%	目標値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	—	—	—	—	48.6	42.3
		評価	—	—	E	E	C	C
特産品の試作品数	—	目標値	—	20	5	20	20	30
		実績値	—	—	—	25	27	27
		評価	—	—	E	A	S	B

重要業績評価指標 (KPI)	単位		基準値	第1期総合戦略計画期間				
				H27	H28	H29	H30	H31・R1
道の駅で販売する町 内産農産物の割合	%	目標値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
道の駅売上金額	億円	目標値	—	4	4	4	3	4.5
		実績値	—	—	—	—	3.9	4.2
		評価	—	—	E	E	S	B
自転車道・歩道とし ての整備による安全 度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
通学路（通楽路）と しての活用による安 全度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
観光入込客数の増・イベ ント参加者や観光客の満 足度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
黒野駅レールパーク 利用者数の増	人/日	目標値	—	100	100	100	100	100
		実績値	36	91	65	61	76	76
		評価	—	—	D	D	C	C
ノルディックウォー キング人口の増	人	目標値	—	300	300	300	300	300
		実績値	—	161	191	232	344	403
		評価	—	—	D	C	A	S
廃線敷を緊急時の避難路 として活用することによ る緊急時安心度の向上	%	目標値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E
習慣的に運動する人 の割合 30代男性	%	目標値	—	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
		実績値	29.4	—	—	—	—	40.0
		評価	—	—	E	E	E	A
習慣的に運動する人 の割合 30代女性	%	目標値	—	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
		実績値	12.5	—	—	—	—	30.0
		評価	—	—	E	E	E	S
習慣的に運動する人 の割合 40代男性	%	目標値	—	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	14.8	—	—	—	—	26.3
		評価	—	—	E	E	E	S
習慣的に運動する人 の割合 40代女性	%	目標値	—	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
		実績値	12.5	—	—	—	—	15.4
		評価	—	—	E	E	E	C
ノルディックウォーキン グ・イベント等で町に來訪 した人の満足度	%	目標値	—	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	—	—	—	—	—	—
		評価	—	—	E	E	E	E

第2期おおの創生総合戦略

令和2年（2020年）10月～令和7年（2025年）9月

発行 大野町

〒501-0592 岐阜県揖斐郡大野町大字大野80番地

TEL 0585-34-1111

FAX 0585-34-2110

